

ものづくりで築く より良い未来

 セントラル硝子

# CSR報告書 2021

Corporate Social Responsibility Report

# セントラル硝子グループのCSR

セントラル硝子グループのCSRは、企業理念の実現です。

企業理念は、基本理念とその実現に向けて進むべき方向性を具体的に定めた基本方針で構成されており、この理念のもと誠実な企業活動を行うために行動規範を定めています。

## 基本理念

### “ものづくりで築くより良い未来”

セントラル硝子グループは、ものづくりを通じて、真に豊かな社会の実現に貢献します。

## 基本方針

- 独自の技術により新たな価値を創造します。
- グローバルでの成長を原動力として企業価値の増大を図ります。
- 環境との調和を心掛け、社会との共生に努めます。
- 開拓精神と多様性を尊重し、活力溢れる企業を目指します。

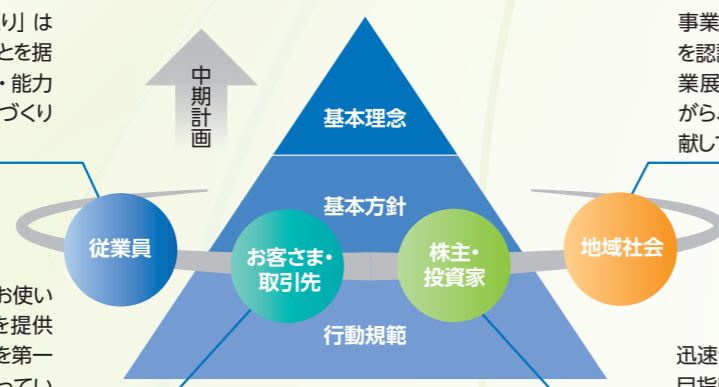
## 行動規範

1. 自らの行動に責任をもち、企業活動において誠実に取り組みます。
2. 品質と安全性を最優先し、お客様のニーズ充足を目指し続けます。
3. 感性を磨き、常に独自の技術とアイデアを追求し続けます。
4. 人々が快適で健やかに暮らせる社会の実現と地球環境の保護に取り組みます。
5. 異なる文化や慣習を積極的に学び、世界の人々に求められる製品づくりに努めます。
6. 一人ひとりの多様性を尊重し、未来に向かって挑戦し続けます。

## セントラル硝子グループのCSR体系

企業発展の基本に「ものづくり」は「ひとづくり」であるということに基づき、従業員一人ひとりの実力・能力を最大限に発揮できる職場づくりを目指しています。

お客さまに愛され、安心してお使いいただける製品とサービスを提供するために、お客さまの満足を第一に考えた品質管理活動を行っています。また取引先とは公正、公平で良好な信頼関係の構築に努めています。



セントラル硝子グループは、以下のCSR体系に基づき、あらゆる活動のPDCAサイクルによる継続的な改善活動を通じて、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

事業活動から生じる環境への影響を認識し、環境負荷低減に努め、事業展開する地域とともに成長しながら、持続可能な社会の実現へ貢献してまいります。

迅速かつ透明性の高い情報開示を目指し、決算説明会や刊行物を通じて、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを重視した活動に取り組んでいます。

## 中期計画 (2018~2020)

セントラル硝子グループは、2018年度から2020年度までの3年間の対象とした中期計画を策定していましたが、中期計画最終年度の2020年度実績で、経営目標に掲げた営業利益、営業利益率、ROEが遺憾ながら未達でありました。

次期中期計画は、新型コロナウイルス感染症の影響やガラス事業における構造改革の進捗などの特定要因の想定が困難な状況のため、2022~2024年を対象期間として、策定する予定にしています。

### 基本方針

事業基盤の強化と独自の技術を通じて新たな成長へ

- 取捨選択を行い、事業基盤を強化する。
- 社会全体や顧客ニーズを先読みし、付加価値を供給する。
- コンプライアンスを遵守し、グローバル企業として社会の発展に貢献する。

### 基本戦略

1. 中長期的な成長基調への回帰

- 伸ばすべき事業領域へ選択的に経営資源を分配し、リターンを追求
- 事業、組織の特性に応じて構造を見直し、成長投資の原資を確保
- 収益力と効率をアップ、選別投資によりキャッシュフローを改善

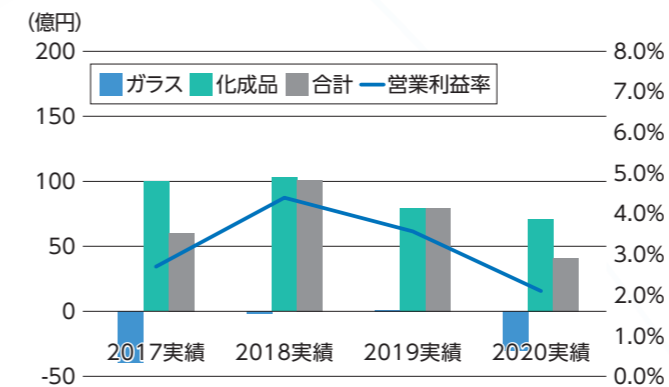
2. 株主還元、投資、財務規律のバランスが取れたキャッシュフローの配分

3. 将来の成長を担保するために研究開発の強化を継続

### 経営目標

	2020目標	2020実績
営業利益	180億円	41億円
営業利益率	7.0%以上	2.1%
ROE	6.0%	0.8%
株主総還元性向	30%以上	247%

### 営業利益・営業利益率推移



## Contents

セントラル硝子グループのCSR	2
Top Message	4
セントラル硝子グループの事業概要	6
セントラル硝子グループがひらく ガラスと化学の未来	8
特集「湘南リサーチセンター」を開設	10
■ コーポレート・ガバナンス	12
■ 環境・安全への取り組み	16
■ 品質向上への取り組み	24
■ 従業員とのかかわり	28
■ 社会とのかかわり	32
■ 各工場の取り組み	34

### 編集方針

CSR報告書2021は、お客さま・取引先、株主・投資家、地域の皆さま、従業員などのステークホルダーの皆さま方とセントラル硝子グループのかかわりについて、より内容を充実させ、よりわかりやすくご報告することを目的に発行いたしました。

### 【参考ガイドライン】

- ISO 26000 (社会的責任に関する手引き)
- 日本レスポンシブル・ケア (RC) 協会のRCコード
- 環境省「環境報告ガイドライン (2018年版)」

### 【対象期間】

2020年4月~2021年3月 (一部対象期間外を含む)

(安全衛生データ、海外関係会社環境データは、2020年1月~2020年12月)

### 【対象範囲】

セントラル硝子グループ (データ集計範囲は、セントラル硝子株式会社の工場、研究所、本社、主要な国内外関係会社)

### セントラル硝子グループとSDGs

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成されています。セントラル硝子グループは、さまざまな事業活動を通じて、SDGsの定める目標に取り組み、社会への貢献と企業の継続的な成長を目指します。





# “ものづくりで築くより良い未来”

セントラル硝子グループは、ものづくりを通じて、真に豊かな社会の実現に貢献します。



### 企業理念の実現

当社グループの企業理念は、ものづくりを通じて、真に豊かな社会の実現に貢献することです。

この企業理念は、基本理念と基本方針からなり、その実現に向けて活動するための行動規範が制定されています。

私たちが、企業価値の向上を目指して活動するにあたり、この企業理念がすべての根幹となります。

私たちの「ものづくり」とは、単に製造工程を指すだけでなく、お客さま、さらには社会のニーズに対応する研究開発、製造、販売などのすべての企業活動を網羅しています。

また、「真に豊かな社会の実現」には、当社グループの基本方針のひとつである「環境との調和」が避けられない課題です。

私の役割のひとつとして、地球環境保護に資する方向に向けて、事業展開を推進していきます。

### 環境課題への取り組み

当社グループでは、これまでも地球温暖化防止への取り組みとして、温室効果ガス排出量の削減に取り組んできましたが、2021年に国の削減目標が新たに設定されましたので、私たちも新しい目標を立てる必要があります。

これまで私たちは、企業活動における削減の取り組みにだけでなく、排出量削減に寄与するリチウムイオン電池用電解液や温暖化係数が小さいハイドロフルオロオレフィン製品群の開発と製品化を行ってきています。

当社グループは、新しい目標の達成に向けて、温室効果ガスの排出量削減につながる事業展開を積極的に推進していきます。

### コンプライアンス

企業理念の実現に向けて企業活動を行ううえで、コンプライアンスは必要不可欠です。

当社グループでは、経営全体の透明性および公正性を高めるとともに、効率化と迅速化を図るコーポレート・ガバナンス体制を構築し、組織としてのコンプライアンス維持に努めています。

また、企業活動を遂行するうえで、当社グループの全従業員が遵守すべき行動規範を制定し、コンプライアンスの徹底を図っています。

しかしながら、これまでに、品質、環境、安全衛生の各分野でさまざまな問題が発生し、改めてコンプライアンスへの取り組みが必要として、「品質ガイドライン」と「環境・安全・衛生ガイドライン」を制定しました。

コンプライアンスの意識を当社グループの全従業員に定着させ、当社グループの風土となるように教育・啓蒙を続けていきます。

### 活力溢れる企業風土の形成

当社グループは「ものづくり」の企業ですが、企業が発展するための基本として「ひとづくり」が必要です。

個人の実力・能力を最大限に発揮できるように、人事制度を定め、人材育成の充実を図っています。

ワークライフバランスの充実を図るために、育児・介護に関する制度を定め、利用しやすい職場環境づくりを行い、仕事との両立を支援しています。

また、出産・育児制度は、女性従業員はもちろん男性従業員の利用も進んできています。

性別、国籍、年齢、障がいなどに関係なく、従業員一人ひとりが自分の成長を感じ、最大限に能力を発揮しながら、生き活きと働ける風土づくりを進めていきます。

これからも、ステークホルダーの皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

セントラル硝子株式会社  
代表取締役 社長執行役員

清水 正



# セントラル硝子グループの事業概要

## 事業内容

ガラス事業	建築用ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入板ガラス、熱線反射ガラス、加工ガラス（強化ガラス、耐熱ガラス、合わせガラス、複層ガラス、防犯ガラス、防災ガラス）、鏡、防曇鏡、装飾ガラス
	自動車用ガラス	赤外線カットガラス、紫外線カットガラス、アンテナ付きガラス、プライバシーガラス、モジュールガラス、遮音ガラス、熱線付きガラス、ヘッドアップディスプレイ用ガラス、各種安全ガラス
	ガラス繊維	長繊維、短繊維

化成事業	化学品	ハイドロフルオロオレフィン、ポリ塩化アルミニウム、石膏、フッ化水素酸
	ファインケミカル	医薬原料・中間体、フッ素系有機・無機薬品、半導体用高純度フッ化物ガス、リチウムイオン二次電池用電解液
	肥料	被覆肥料、塩加磷安、NK化成、塩安、有機化成

## Europe

会社名	所在地	主な業容
<b>ガラス事業部門</b>		
カーレックスガラス ルクセンブルク	ルクセンブルク	自動車用ガラスの製造、販売
<b>化成事業部門</b>		
セントラルガラス ジャーマニー	ドイツ	医薬品等のGMP受託製造
セントラルガラス ヨーロッパ	英国	調査・情報サービス
アポロサイエンティ フィック	英国	フッ素化学薬品の製造、販売
セントラルガラス チェコ	チェコ	リチウムイオン二次電池用電解液の製造、販売

## Asia

会社名	所在地	主な業容
<b>ガラス事業部門</b>		
台湾信徳玻璃	台湾	電子材料用加工ガラスの製造、販売
裕盛工業	台湾	自動車用ガラス、自動車用内装部品の製造、販売
聖戈班中硝安全 瑠璃（青島）	中国	自動車向け加工ガラスの製造、販売
<b>化成事業部門</b>		
基佳電子材料	台湾	情報・電子産業用特殊ガス製品および化学品の販売
基佳電子材料 シンガポール	シンガポール	情報・電子産業用特殊ガス製品および化学品の販売
基佳電子材料商貿 （上海）	中国	情報・電子産業用特殊ガス製品および化学品の販売
浙江中硝康騰化学	中国	リチウムイオン二次電池用電解液およびフッ素ケミカルの製造、販売
上海中硝商貿	中国	ガラス製品、化学製品、化学肥料、ガラス繊維等の卸売、輸出入
江西天賜中硝新材料	中国	リチウムイオン二次電池用電解液の原料の製造、販売
浙江博瑞中硝科技	中国	半導体向け特殊ガスの製造、販売
ジェイセル	韓国	リチウムイオン二次電池用電解液の製造、販売および技術サービスの提供
韓国セントラル硝子	韓国	ガラス製品、化学製品、化学肥料、ガラス繊維等の卸売、輸出入
セントラルガラス カンパニーインド	インド	ガラス製品、化学製品、化学肥料、ガラス繊維等の卸売、輸出入
ジャパンベトナム ファーターライザー カンパニー	ベトナム	化成肥料の製造、販売

## Japan

会社名	所在地	主な業容
<b>ガラス事業部門</b>		
セントラル硝子販売	東京都	建築、住宅用ガラスの加工、卸、販売、施工
セントラル硝子工事	東京都	建築ガラスの工事請負、施工
尾州硅砂工業	愛知県	硅砂、砂利の精製
三重硝子工業	三重県	板ガラスの二次加工品の製造・販売
セントラル硝子 プラントサービス	三重県	木箱、パレットなどの製造・販売、板ガラスの切断、二次加工、工場施設の保全、装置の製作・修理
セントラル・ サンゴバン	東京都	自動車用ガラスおよびその他ガラス製品の購入、販売、輸出入
セントラル ガラスモジュール	栃木県	自動車部品等の製造、加工、販売
日本特殊硝子	岐阜県	自動車用ガラス、建築用加工ガラスの製造
セントラルプラス ファイバー	三重県	ガラス長繊維、ガラス短繊維およびその関連製品の製造、加工、販売
双和運輸倉庫	大阪府	倉庫業、貨物運送業
中央インシュレーション	愛知県	ガラス短繊維製品の製造、加工
<b>化成事業部門</b>		
セントラル化成	東京都	被覆肥料、塩安、化成肥料およびその関連製品の製造、加工、販売
東商セントラル	東京都	各種物資の販売、保険代理業、貨物運送業、包装荷役
セントラルエンジ ニアリング	山口県	各種プラント等の設計および施工、機械装置の製作、修理
宇部分析センター	山口県	各種化学品、肥料などの分析業務
宇部吉野石膏	山口県	石膏プラスターの製造

## America

会社名	所在地	主な業容
<b>ガラス事業部門</b>		
カーレックスガラス アメリカ	米国	フロートガラスの製造および自動車用ガラスの製造、販売
<b>化成事業部門</b>		
シンクレスト ラボラトリーズ	米国	フッ素化学製品の製造、加工、販売
セントラルガラス インターナショナル	米国	調査・情報サービス、各種物資の販売



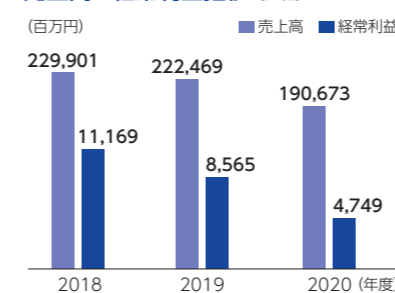
## 会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	セントラル硝子株式会社
設立	1936年10月10日
従業員数	1,671人（連結6,053人）
資本金	181億6,828万円
上場取引所	東京証券取引所

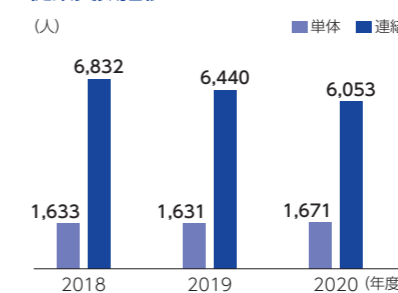
## 事業所一覧

本社	東京都千代田区神田錦町3丁目7番地1（興和一橋ビル）
化学研究所	埼玉県川越市中台2丁目17番地5
化学研究所（宇部）	山口県宇部市大字沖宇部5253番地
硝子研究所	三重県松阪市大町1510番地
宇部工場	山口県宇部市大字沖宇部5253番地
松阪工場	三重県松阪市大町1521番地2
松阪工場堺製造所	大阪府堺市堺区築港南町6番地
川崎工場	神奈川県川崎市川崎区浮島町10番2号

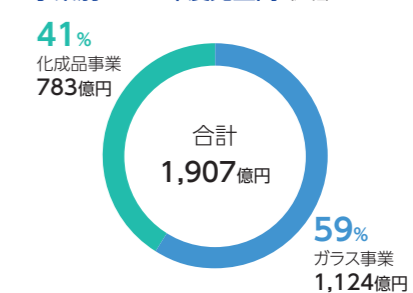
## 売上高・経常利益推移 (連結)



## 従業員数推移



## 事業別2020年度売上高 (連結)



# セントラル硝子グループがひらく ガラスと化学の未来

セントラル硝子グループは、広く社会に貢献する製品を提供していくことを使命とし、ビルや住宅用、自動車用ガラス製品の素材提供のほかに、工業製品の原料、製造工程を支える材料、また、肥料や医薬品など、さまざまなところで、セントラル硝子グループの製品は快適な生活を支えています。セントラル硝子グループは、事業活動を通して、これまで世の中になかった価値を創造し、より地球環境にやさしい製品と人の健康・安全に配慮した製品を開発し提供していきます。

## ガラス事業

### ガラス

#### 建築・住宅用ガラス

建築・住宅用ガラスとして広く普及しているエコガラスはLow-E膜がコーティングされた複層ガラスです。エコガラスの持つすぐれた断熱性能と遮熱性能によりガラスからの熱の出入りが抑制され、暑い夏も寒い冬も少ない電力で室内を快適に保ちます。さらに、結露防止、紫外線カットの効果もあり、人にも地球環境にもやさしいガラスです。また、大型台風や地震の発生時にガラスが割れたとしても室内へガラス破片が飛散しにくい防災安全合わせガラス、屋外の騒音を遮り静かな室内空間を実現する防音ガラスなど、人々の安全・快適な暮らしの実現へ各種ガラスが使用されています。

### ガラス繊維

#### 樹脂補強材

ガラス長繊維は、各種FRP製品をはじめ、住宅・自動車・船舶からエレクトロニクス製品まで幅広く使われています。自動車の軽量化に貢献するなど、CO<sub>2</sub>削減や省エネに役立っています。

### 化学品

#### 断熱フォーム用発泡剤

住宅や冷凍・冷蔵ショーケースなどに使われる断熱フォームの発泡剤には、ハイドロフルオロオレフィン製品が使われています。ハイドロフルオロオレフィン製品はオゾン層破壊がなく、地球温暖化係数が小さい、環境対応型の材料です。同製品は、断熱効率を高めることにより、省エネルギー社会にも貢献しています。

### ファインケミカル

#### リチウムイオン電池用電解液

EVやハイブリッドカーなどのリチウムイオン電池に使用される電解液です。独自開発の添加剤により電池性能を向上させることを特徴としています。この高性能電解液を世界の電池メーカーへ提供しCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献しています。

### アグリ・バイオ

#### 環境配慮型農業資材 [被覆肥料セラコート®]

理想の肥効、省力・低コスト、環境に配慮の3つをコンセプトに開発された肥効調節型被覆肥料です。

### 自動車用ガラス

自動車用窓ガラスとして合わせガラス、強化ガラスを提供しています。断熱性能をもった製品（IRカット機能付ガラス）も展開しており、陽射しに含まれる赤外線をカットすることで、車内の快適性、冷房負荷の軽減、省エネに寄与します。

### 無鉛鏡・防曇鏡

無鉛鏡は有害な鉛成分を含まない裏面塗料を使用した地球環境にやさしい鏡です。また、鏡表面の特殊機能膜によって電気を使用せずに洗面化粧台鏡の曇りを抑制する防曇鏡は、省エネであり、地球環境にやさしく、お客さまの快適な日常生活の実現に寄与する鏡です。

### 自動車用吸音材

ガラス短繊維は、自動車・鉄道車両などの吸音材、また、省エネに役立つ断熱材として使用されている火災に強い不燃材料で、原材料の多くはリサイクルガラスが占めています。

### フッ素系洗浄剤・溶剤

自動車・電子機器部品の精密洗浄、衣類のドライクリーニング、医療機器の特殊コーティングなどに使われる溶剤には、ハイドロフルオロオレフィン製品が使われています。ハイドロフルオロオレフィン製品はオゾン層破壊がなく、地球温暖化係数が小さい、環境対応型の材料です。同製品は、幅広い産業分野で環境にやさしいものづくりに貢献しています。

### 医薬品原薬・中間体

培ってきたフッ素化学などの技術を活かして、麻酔薬や潰瘍薬などの医薬品の原薬や中間体を提供し、人々の健康に貢献しています。

### 電子材料用フッ素製品

パソコンやモバイル機器に使用される半導体製造時に、フッ素系のプロセスガス、クリーニングガス、レジスト材料および撥水乾燥材が使用されています。

施肥効率がいため、施用量が削減でき、環境にもやさしい肥料です。

ものづくりを通じて、真に豊かな社会の実現に貢献します。

安全で快適な暮らしの実現

環境保全に配慮した製品の開発

グローバルへの展開

低炭素社会

企業価値の向上

## 化成品事業

ものづくりで築くより良い未来

基本理念

独創的な技術

環境との調和

グローバルでの成長

開拓精神

多様性



# 次世代医療の研究開発機関が集積する 「湘南ヘルスイノベーションパーク」に新たな研究開発拠点 「湘南リサーチセンター」を開設


2021年5月6日、私たちの新たな研究開発拠点として「湘南リサーチセンター」を開設しました。

湘南リサーチセンターは当社の新規事業を統括する化成品事業企画部に所属する組織です。その目的は医薬品の研究開発に留まらず、ライフサイエンスの事業創出を目指した外部協業やコラボレーションの推進も含まれます。湘南アイパーク内の共有設備として医薬品の研究開発に必要な高度な実験機器や評価装置が利用できるほか、医薬品開発の薬事相談を専門とするエキスパートへの個別相談も可能な環境のもとで、新たな創薬研究に取り組んでいきます。

## 次期成長事業に掲げるライフサイエンスに対する取り組み

当社は中期計画でライフサイエンスを次期成長事業のひとつに掲げています。この分野で扱う対象物は当社が得意とする化学物質に加えて、遺伝子やたんぱく質といった生物由来物質、細胞や動物、ヒトを含む生物などがあります。ライフサイエンスは成長が確実視される分野として世界的に注目されており、従来にない新タイプの医薬品や医療機器、再生医療機器などの産業が急速に立ち上がっています。最近では新型コロナウイルス感染症のワクチンとして、mRNAワクチンが世界で初めて実用化されました。

当社はこれまで医薬品分野に全身吸入麻酔薬（セボフルラン）をはじめとする多様な化学物質を提供して、国内外のお客様から高い評価をいただけてきました。今後、これら事業活動にて蓄積された技術を応用して、次世代の医薬品開発に挑戦するためには、これまで以上に幅広い科学分野の技術獲得、製薬企業やスタートアップ企業とのコラボレーションが必要になります。このような背景から2021年5月に湘南ヘルスイノベーションパークに研究開発拠点「湘南リサーチセンター」を開設しました。



化成品事業企画部  
事業開発グループ  
湘南リサーチセンター

**小川 毅(左)**

### VOICE

湘南リサーチセンターは当社の掲げる成長事業であるライフサイエンスの研究活動と事業開発の2つの側面を持っています。一言にライフサイエンスといっても、その対象領域は非常に幅広く、湘南リサーチセンターの開発対象はアンメットメディカルニーズである難治性疾患領域としています。

たとえばヒト体内で異常蛋白質が凝集して発症するとされる神経変性疾患とよばれる病気があり、当社は2021年に新たな薬理機序を示した研究論文を発表しました。湘南リサーチセンターでは当社コア技術である化学合成や材料開発とのシナジーを図りながら、さまざまな業種の企業や研究機関とのコラボレーションを行い、当社の成長戦略の一端を担っていきます。



当社が入居する居室スペース



医薬品の研究開発に用いる実験機器、評価装置



### 湘南ヘルスイノベーションパークの概要

湘南ヘルスイノベーションパーク（略称：湘南アイパーク、所在地：神奈川県藤沢市）は、2018年4月に武田薬品工業株式会社の巨大な研究施設を開放して設立されたサイエンスパークです。幅広い業種や規模の産官学が結集し、ヘルスイノベーションを加速する場となることを目指しています。製薬企業のみならず、次世代医療、AI、ベン

チャーキャピタル、行政など100社、2,000人以上の企業・団体がエコシステムを形成しています。

公式ホームページ：  
<https://www.shonan-health-innovation-park.com/>

写真は湘南ヘルスイノベーションパーク



# 経営全体の透明性・公正性を高めるために

セントラル硝子グループは、経営全体の透明性・公正性を高めるとともに、効率化と迅速化を図るコーポレート・ガバナンス体制を構築しています。また、誠実な企業活動を実践するために、全従業員のコンプライアンス意識を高揚させるための取り組みを推進しています。



## コーポレート・ガバナンス

セントラル硝子は、一層の企業価値向上と収益の拡大を図るため、絶えず経営全体の透明性および公正性を高めていくとともに、経営環境の変化に迅速に対応できる効率的かつ合理的な組織体制の確立に努めていくことをコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方としています。

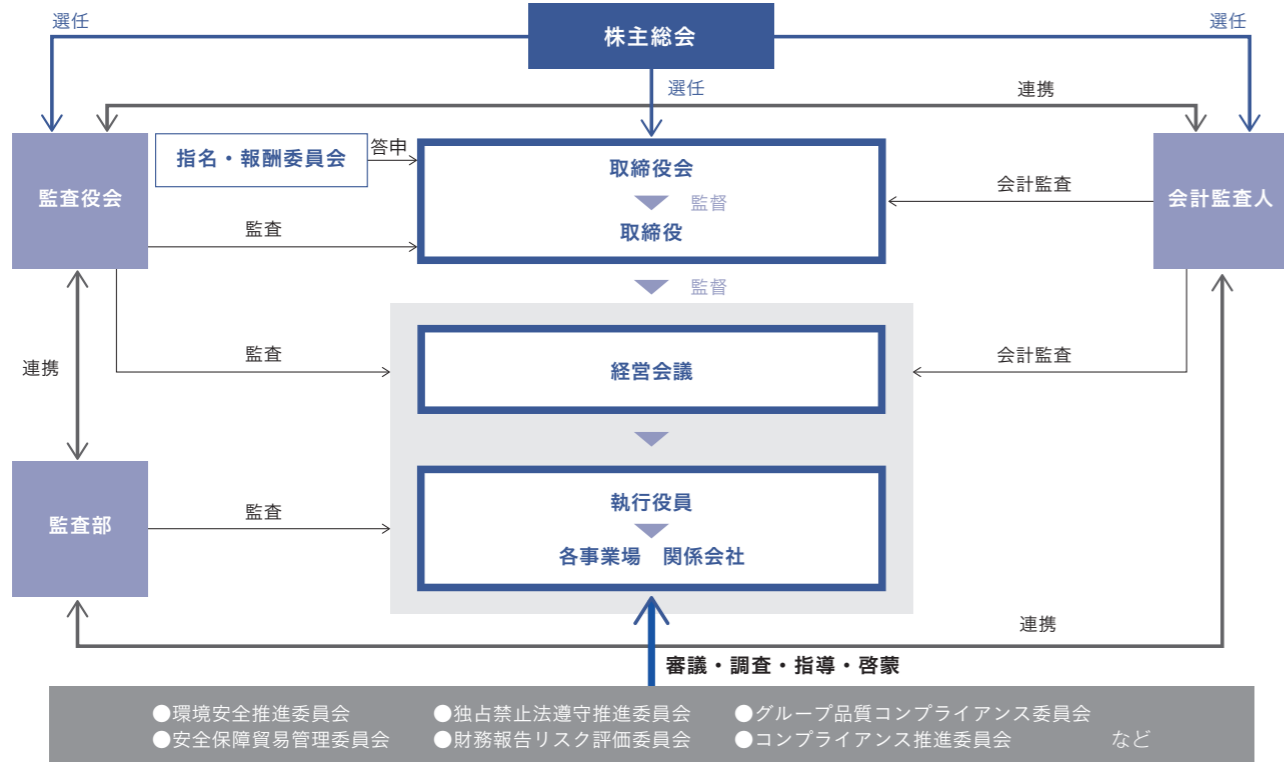
この考え方に基づき、セントラル硝子は、取締役会と監査役会をコーポレート・ガバナンスの基本的体制とした上で、執行役員制度を導入し、重要な経営事項の意思

決定および業務執行の監督機能ならびに業務執行機能を分離することにより取締役会をスリム化し、経営の効率化と迅速化を図っています。

また、会社法で定められた会計監査人を設置しているほか、内部監査部門として監査部を設置して、当社および子会社などの業務全般の監査を行い、代表取締役および監査役にその結果を報告しています。

監査役、会計監査人および監査部は、情報・意見交換を行い、連携を図りながら、問題の共有化に努めて監査の充実と効率化を図っています。

■ コーポレート・ガバナンスにかかわる組織図



- 環境安全推進委員会
- 独占禁止法遵守推進委員会
- グループ品質コンプライアンス委員会
- 安全保障貿易管理委員会
- 財務報告リスク評価委員会
- コンプライアンス推進委員会 など

## 取締役会

取締役会は、原則として月1回、また必要に応じて適宜開催し、取締役会規則に則り法定決議事項および経営上重要な事項を審議・決議し、取締役および社長をはじめとする執行役員の業務執行を監督しています。

また、一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立性を備えた社外取締役および社外監査役が、取締役会の判断の公正さを担保し、かつ取締役会の恣意的な判断を排除するための機能と役割を担っています。

## 経営会議

経営会議は、経営会議規則に則り、原則として週1回開催し、取締役会への上程議案など、業務執行上重要な事項を審議・決議しています。

## 監査役会

監査役会は、原則として月1回、また必要に応じて適宜開催し、監査に関する重要な事項について協議・決議するほか、監査役相互の情報の共有と意見交換を密に行っています。また、定期的に代表取締役と監査上の重要な課題などについて意見交換を行っています。

監査役は、取締役会をはじめとする重要な会議に出席し、取締役および執行役員の職務執行状況を監査するとともに、当社各事業場および関係会社の業務遂行状況に関する監査を行っています。

## 監査部

セントラル硝子グループは、内部監査および財務報告に係る内部統制システムの整備を目的として、本社内には監査部を設置しています。

内部監査については、グループ全体の業務の有効性および効率性の維持、資産保全、法令・社内規程類などの遵守、さらに不正の未然防止を目的とした業務監査を行っています。監査を通じて改善すべき点を発見した際は、必要に応じて改善に関する助言、勧告を行い、適正かつ効率的な業務運営の維持に努めています。

2020年度は、年間計画に沿って業務監査を行いました。監査を通じて改善に関する助言、勧告を行った場合は、改善完了まで継続的なフォローアップを行っています。

財務報告に係る内部統制システムの整備については、財務報告の信頼性の保証を目的に、毎年「セントラル硝

子グループ取組方針」を周知し、重要な拠点を対象に独立の立場から内部統制の有効性を評価しています。

2020年度は、本方針に従って評価を行い、2021年3月31日現在の当社グループの財務報告に係る内部統制は有効であることを記載した「内部統制報告書」を提出しています。

また、監査役との連携のために、定期的、かつ必要に応じて会合を持っています。相互に情報を交換し、協力体制を構築することにより、監査の充実と効率化を図っています。

## 環境安全推進委員会

セントラル硝子グループは、「環境・安全・衛生ガイドライン」に基づき、製品の開発から廃棄にいたるまでのすべてのライフサイクルにおける「環境・安全・衛生」活動の全社的な推進を図る組織として、環境安全推進委員会を設置しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策として従来のTV会議に加えリモート会議も導入し、多くの会場に分散し、環境安全推進委員を含めた計118名の参加のもと開催しました。本社会場からは、2019年度の環境方針、安全衛生管理方針、ならびに環境安全課題に対する全社活動結果、および2020年度のそれぞれの方針をもとにした全社活動計画の報告を行いました。また、製造部門、研究開発部門の各会場からもそれぞれの2019年度活動結果と2020年度活動計画の報告を行い、情報の共有化とともに継続的な改善に向けた活動を行いました。

■ 委員構成 (2021年4月1日現在)

委員長	環境安全担当役員
副委員長	環境安全担当役員 (副)
委員	人事部長、硝子品質保証室長、化成品技術企画部長、化成品生産技術センター長、化成品品質保証室長、環境安全部長、品質保証統括部長、化学研究所長、硝子研究所長、宇部工場長、松阪工場長、松阪工場堺製造所長、川崎工場長
陪席	常勤監査役



環境安全推進委員会

### 独占禁止法遵守推進委員会

セントラル硝子グループは、独占禁止法遵守体制を確立し、同法令遵守の推進を図る組織として、独占禁止法遵守推進委員会を設置しています。

2020年度は、独占禁止法に抵触するおそれのある情報の開示の有無確認、カルテル摘発動向、下請取引調査および主に営業部門への社内教育を行いました。また、外部講師による改正独占禁止法の解説および下請法に関する教育を行い、独占禁止法の遵守に向けた活動を行いました。

#### ■ 委員構成 (2021年4月1日現在)

委員長	経営管理室担当役員
委員	経営管理室長、購買部長、硝子販売部長、自動車機材部長、硝子企画部長、化成品営業部長、医療化学品営業部長、精密化学品営業部長、電子材料営業部長、エネルギー材料営業部長、化成品事業企画部長、化成品技術企画部長、化成品生産技術センター長、化成品品質保証室長、アグリ・バイオ事業推進室長、硝子繊維部長、化学研究所長、化学研究所副所長、硝子研究所長、宇部工場長、松阪工場長、松阪工場堺製造所長、川崎工場長、関係会社社長（主要関係会社）
オブザーバー	常勤監査役、監査部長、(株)東商セントラル、セントラル化成(株)、セントラルグラスファイバー(株)、セントラル・サンゴバン(株)

### グループ品質コンプライアンス委員会

2020年3月に、製品安全に関する活動も含めて、セントラル硝子グループ全体の品質保証体制をより一層強化すべく、グループ横断組織であるグループ品質コンプライアンス委員会を創設しました。

グループ品質コンプライアンス委員会では、次の会議体を通して品質活動を推進しています。

- ①品質推進会議：品質活動のPDCAを推進する
- ②緊急対策会議：品質と製品安全の問題に迅速な対応を行う
- ③再発防止会議：問題の再発防止の徹底を図る

本委員会は、セグメントの品質活動を推進する会議（「セグメント会議」）も設置しています。セグメント会議で協議された内容は本委員会事務局に報告されます。

2020年度の品質推進会議は、グループ品質コンプライアンス委員を含めた計66名の参加により、2020年度の活動状況の確認ならびに2021年度の品質活動方針を共有しました。緊急対策会議や再発防止会議は、随時適切に開催されています。

#### ■ 委員構成 (2021年4月1日現在)

委員長	品質保証統括部担当役員
副委員長	品質保証統括部長
委員	経営管理室長、購買部長、硝子販売部長、自動車機材部長、硝子企画部長、硝子品質保証室長、化成品営業部長、医療化学品営業部長、精密化学品営業部長、電子材料営業部長、エネルギー材料営業部長、化成品事業企画部長、化成品技術企画部長、化成品生産技術センター長、化成品品質保証室長、アグリ・バイオ事業推進室長、硝子繊維部長、化学研究所長、化学研究所副所長、硝子研究所長、宇部工場長、松阪工場長、松阪工場堺製造所長、川崎工場長、関係会社社長（主要関係会社）
陪席	常勤監査役

### 安全保障貿易管理委員会

セントラル硝子グループは、国際的な平和および安全の維持、大量破壊兵器および通常兵器の過度の蓄積防止の観点から、輸出関連法規（貨物の輸出および非居住者への技術の提供または外国において技術の提供をすることを目的とする取り引きを規制する外国為替及び外国貿易法など）に違反してこれらを行わないことを基本方針としています。さらに、この方針を社内に周知徹底するための「安全保障貿易管理プログラム」を制定しており、そのプログラムの達成を図る組織として、安全保障貿易管理委員会を設置しています。

2020年度は、ガラス事業および化成品事業製品の輸出品目の該非判定結果報告、主な法令・制度の改定などの周知、社内監査結果をもとに、法令遵守の周知徹底を行いました。

#### ■ 委員構成 (2021年4月1日現在)

委員長	代表取締役
委員	硝子企画部長、化成品技術企画部長、情報システム部長、硝子販売部長、自動車機材部長、化成品営業部長、医療化学品営業部長、精密化学品営業部長、電子材料営業部長、エネルギー材料営業部長、化成品事業企画部長、アグリ・バイオ事業推進室長、硝子繊維部長、環境安全部長、化学研究所長、硝子研究所長
社外委員	(株)東商セントラル貿易担当部長
陪席	常勤監査役、監査部長

### 財務報告リスク評価委員会

セントラル硝子グループは、経営の意思決定および会計事実が、財務報告に与える影響の評価および分析を行い、財務報告の信頼性を確保する組織として、財務報告リスク評価委員会を設置しています。

2020年度は、社内起因、外的要因などの影響により、財務報告リスクにつながる可能性のある案件に対する評価・分析を行い、そのリスクを回避するための指導を行いました。

#### ■ 委員構成

委員長	経理部担当役員
委員	経営管理室担当役員、監査部担当役員、経理部長、経営管理室長、監査部長
陪席	常勤監査役

### コンプライアンス推進委員会

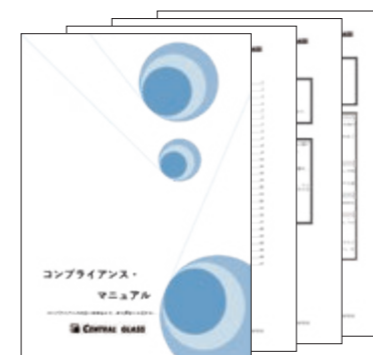
セントラル硝子グループは、コンプライアンスの推進を図るために「コンプライアンス・マニュアル」を制定しており、コンプライアンスに関連する事項を調査、審議する組織として、コンプライアンス推進委員会を設置しています。

2020年度は、内部通報案件への対応として、コンプライアンス推進教育を行いました。

また、法令・社内規則などの変更に伴い、「コンプライアンス・マニュアル」の改定を行い、全従業員への周知を行いました。

#### ■ 委員構成 (2021年4月1日現在)

委員長	経営管理室担当役員
委員	経営管理室長、人事部長、監査部長
陪席	常勤監査役



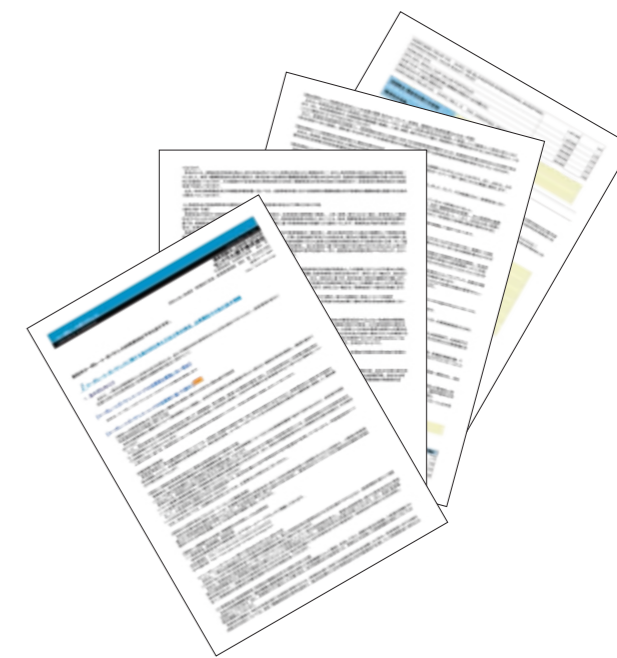
コンプライアンス・マニュアル

### コーポレートガバナンス・コードへの対応

セントラル硝子は、2018年6月に改訂・施行された東京証券取引所が定めるコーポレートガバナンス・コード（以下CGコード）に対する活動実績を記載したコーポレートガバナンス報告書を定期的に開示しています。

2020年度は、継続しての開示が必要な「政策保有株式の縮減に関する方針」を踏まえた、取締役会における政策保有株式の保有の適否の検証を行った結果、および取締役会における「取締役会全体の実効性」の評価・分析結果を活動実績として開示しました。2021年には、CGコードの改訂が予定されていますので、改訂された内容に沿った報告書の開示を行ってまいります。

また、東京証券取引所では2022年4月4日を目処に市場区分の再編が予定されています。セントラル硝子では、市場選択の検討を開始しており、9月以降予定されている市場選択手続きに対応してまいります。



コーポレートガバナンス報告書



# すべては人と地球環境のために

セントラル硝子グループは、レスポンシブル・ケア活動の考え方に基づき、開発から製造、物流、使用、最終消費、リサイクルを経て廃棄に至るすべての過程において、環境・安全・衛生を確保し、社員一人ひとりが誠実に活動を行い、その成果を公表し、社会との対話・コミュニケーションを行います。



## 環境・安全マネジメント

### 環境・安全・衛生ガイドライン

セントラル硝子グループの企業理念、行動規範に基づき、2020年10月に「環境・安全・衛生ガイドライン」を制定しました。社会的に環境問題・労働安全への関心がより一層増している現況で、当社の企業リスクは高まりつつあります。適正な法対応は当然ながら、より高い水準で企業活動を行い、社会要求を達成し、安全で働きやすい職場を目指し、環境・安全のマネジメントを推進しています。

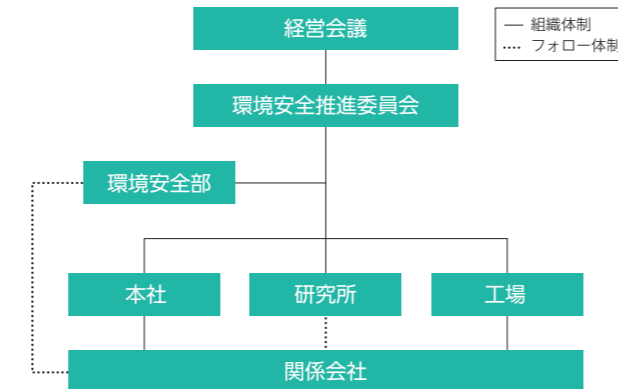
**環境・安全・衛生ガイドライン** 制定日：2020年10月30日  
“すべては人と地球環境のために”

セントラル硝子グループは、レスポンシブル・ケア活動の考え方に基づき、開発から製造、物流、使用、最終消費、リサイクルを経て廃棄に至るすべての過程において、環境・安全・衛生を確保し、社員一人ひとりが誠実に活動を行い、その成果を公表し、社会との対話・コミュニケーションを行います。

## 環境・安全マネジメント推進体制

セントラル硝子グループでは、環境安全推進委員会を設置し、事務局である環境安全部がセントラル硝子グループの環境・安全活動を推進しています。本社・研究所・工場・関係会社では各事業所の特有事項を活動計画に織り込み、具体的な環境・安全に対する取り組みを行っています。

### ■ 環境・安全マネジメント推進体制図



マネジメントシステム	法令遵守	法令や各種規制の内容を正確に把握し、確実な対応を行います。
	継続的改善	規程・基準等のルールに基づき活動し、継続的改善に努めます。
	未然防止・リスク対応	問題発生の未然防止に努め、問題が発生した際には、真因分析を適切に行い再発防止に努めます。
環境保全	定期的な調査、監査により、各種要求に対する適合性及び妥当性、有効性の確認を行い、必要な場合は適切な処置を行います。	開発から製造、物流、使用、最終消費、リサイクルを経て廃棄に至るすべての過程における活動が与える環境への影響を把握し、環境負荷の低減活動を推進します。
保安防災	火災、爆発、及び化学物質流出などの事故災害の未然防止に努め、従業員が安全に働ける労働環境と地域社会の安全・安心を確保します。	
労働安全衛生	作業環境の潜在的危険性の排除に努め、心身の健康の保持増進につながる活動を推進するとともに、「自らの生命・身体・健康は、自らが守る」活動を推進します。	
物流安全	輸送手段・輸送状況及び安全性情報の管理並びに事故時の措置の周知徹底を図り、従業員、輸送業者、集配業者の安全、並びに環境を保護するための総合的な物流安全確保を推進します。	
化学物質管理	化学物質の危険・有害性の把握及び適切な管理・取扱いにより、顧客も含めた全ての取扱者の安全と環境を守ります。	
コミュニケーション	活動内容と成果を公表し、全てのステークホルダーの皆様との対話を積極的に行います。	

## ■ 2020年（度）目標と取り組み結果

課題	(P) 2020年（度）目標	(D) 2020年（度）取り組み結果	(C) 評価	(A) 2021年（度）の取り組み
環境・安全マネジメント	2020年度環境方針の推進 2020年安全衛生管理方針の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度環境方針、2020年安全衛生管理方針に基づき、各事業所で年度方針を策定し、活動を実施</li> <li>環境安全自主監査、環境安全現地監査にて、取り組み状況を確認</li> <li>環境安全推進委員会で経営層レビュー</li> </ul>	○	2021年度環境方針の推進 2021年安全衛生管理方針の推進
環境保全の推進	2020年度のCO <sub>2</sub> 排出削減(目標2005年度比15%減)	CO <sub>2</sub> 排出量430千トン(2005年度比54.3%減)	○	2030年度のCO <sub>2</sub> 排出削減目標の策定 目標達成に向けた活動
	2020年度の産業廃棄物最終処分量削減(目標2000年度比71%減)	産業廃棄物最終処分量9.8千トン(2000年度比85.4%減)	○	2025年度の産業廃棄物最終処分量削減目標の策定 目標達成に向けた活動
保安防災の推進	設備の安全対策、作業の安全確保の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>法定点検、自主点検の徹底</li> <li>安全設備の設置、導入</li> <li>作業基準書などの整備、徹底</li> </ul>	○	設備の安全対策、作業の安全確保の実施
	事故情報の効果的活用 の推進	保安防災データベースを活用し、国内関係会社を含めて、事故情報と再発防止対策を共有。	○	保安防災データベースの効果的活用 の推進
労働安全衛生の推進	職場環境の維持・向上 ゼロ災の達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年労働災害白書の要因解析などに基づく災害防止策の実施</li> <li>各事業所へ労働災害撲滅に向け安全衛生活動の活性化を指示</li> <li>労働災害発生件数29件(対前年-11件)</li> </ul>	△	2020年労働災害白書により、災害発生要因解析などに基づく災害防止策の実施
物流安全の推進	化学物質輸送時の事故防止と 事故発生時の被害拡大防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令対象物質以外も含めた化学製品に対してイエローカードを発行</li> <li>社内ルールに沿ってイエローカードが適切に運用されていることを、社内データベースや監査等で確認</li> </ul>	○	新規イエローカードの整備および 既存のイエローカードの必要な見直し の継続実施
化学物質管理の推進	化学物質の環境への排出量の削減 関係法令の継続遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>PRTR対象物質含有原料の代替品への切替検討</li> <li>化審法、化管法（PRTR制度）等に沿った必要な届け出の実施</li> <li>関係法令の遵守状況を、自主監査報告書および環境安全現地監査で確認</li> </ul>	○	化学物質の環境への排出量の削減 関係法令の継続遵守
	アスベストの使用・保管状況の把握および適切な処分 の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回/年の建屋、設備を対象としたアスベストの使用・保管・処分状況の調査の実施</li> <li>アスベストの使用・保管の状況を自主監査報告書および環境安全現地監査で確認</li> </ul>	○	アスベストの使用・保管状況の把握 および適正な処分の継続実施
	PCB含有機器の厳重管理と法令に基づく 処分の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>四半期ごとのPCB機器の保有・処分状況の調査の実施</li> <li>PCB機器の管理状況などを自主監査報告書および環境安全現地監査で確認</li> </ul>	○	PCB機器の使用・保管状況の把握 および法令に基づく処分の継続実施
コミュニケーション	SDS・GHSラベルによる リスク軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令対象物質以外も含めた化学製品に対してSDS・GHSラベルを発行</li> <li>原材料のSDSの最新版入手、SDSによる教育の実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学製品へのSDS・GHSラベルの確実な発行</li> <li>原材料のSDSによる教育</li> </ul>
	地域活動への参加 地域社会との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ボランティア活動、社会福祉活動への貢献</li> <li>地域対話の実施（オンラインでの対話集会）</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ボランティア活動、社会福祉活動への貢献の継続</li> <li>地域対話の継続実施</li> </ul>

評価：○…目標を達成 △…概ね達成したが、一部未達成 ×…追加対策が必要 —…評価対象外  
\*労働安全衛生に関する集計時期は、2020年1月～12月

### レスポンシブル・ケア (Responsible Care: RC) 活動とは

レスポンシブル・ケア活動とは「製品の開発から製造、物流、使用、最終消費、リサイクルを経て廃棄に至るすべての過程において、環境・安全・健康に配慮することを経営方針のもとで公約し、自主的に環境安全対策の実行、改善をはかっていく」活動のことです。  
事業者が環境・安全・健康を維持するために、社会に対して責任を果たすには、法・条例の遵守だけでなく、事業者自身による自主的な管理を行わないと不十分であるとの認識のもと、法による対応と産業界（事業者）による自主管理＝規制と自主管理のベストミックスが必然になったといえます。





### 環境安全監査

セントラル硝子グループでは、工場・研究所および国内関係会社を対象に、マネジメントシステム、環境保全、保安防災、労働安全衛生、物流安全、化学物質管理、コミュニケーションなどの管理状況を確認しています。

確認方法は、各事業所がチェックシートに自ら回答する「環境安全自主監査」と、監査チームが直接事業所にて管理状況を確認する「環境安全現地監査」があります。

2020年度は、セントラル硝子グループの国内51事業所を対象に「環境安全自主監査」を行い、10事業所を対象に「環境安全現地監査」を行いました。

また、海外関係会社については、10社を対象とした労働災害発生状況調査と環境保全調査を行いました。

引き続き、国内外、各事業所における環境安全活動の

継続的改善につながるよう、環境安全監査および各種調査に取り組んでいきます。

### 環境保全の推進

#### セントラル硝子グループのマテリアルバランス

セントラル硝子グループは、生産活動における環境負荷を定量的に把握し、環境面の課題を抽出し、その抽出した課題の改善により、環境負荷を低減させる取り組みを続けています。主として、温室効果ガス排出削減、大気・水域への環境負荷物質の排出削減、廃棄物のリサイクル化、廃棄物最終処分量の削減などに取り組んでいます。

引き続き、循環型社会を構築するため、資源の消費・廃棄量を把握し、温室効果ガスや環境負荷物質・廃棄物などの排出抑制や循環利用を進めていきます。

#### マテリアルバランス (2020年度実績)

##### INPUT

総物質投入量	927千トン	総水資源投入量	18,453千m <sup>3</sup>	総エネルギー投入量	12,314TJ
セントラル硝子	652千トン	セントラル硝子	11,025千m <sup>3</sup>	セントラル硝子	6,514TJ
関係会社	275千トン	関係会社	7,428千m <sup>3</sup>	関係会社	5,800TJ



##### OUTPUT

大気		水域		廃棄	
総温室効果ガス排出量	824千トン-CO <sub>2</sub>	総排水量	17,002千m <sup>3</sup>	廃棄物 総排出量	83千トン
セントラル硝子	460千トン-CO <sub>2</sub>	セントラル硝子	10,887千m <sup>3</sup>	セントラル硝子	22千トン
関係会社	364千トン-CO <sub>2</sub>	関係会社	6,115千m <sup>3</sup>	関係会社	61千トン
大気負荷物質排出量	5,188トン	水質負荷物質排出量	76トン	廃棄物 最終処分量	17.6千トン
セントラル硝子	4,133トン	セントラル硝子	57トン	セントラル硝子	9.8千トン
関係会社	1,055トン	関係会社	19トン	関係会社	7.8千トン

報告範囲について

- セントラル硝子…3工場、1製造所、3研究所、化成品生産技術センター、本社
- 国内関係会社…主要15社
- 海外関係会社…主要10社
- 総温室効果ガス排出量…エネルギー起源、非エネルギー起源、6ガス、輸送、フロン類を含む

### 温室効果ガス排出量削減

#### ● セントラル硝子

セントラル硝子では、地球温暖化防止の中期的な取り組みとして、工場操業に伴う温室効果ガス排出量を2020年までに2005年度比で15%削減する目標を立て、温室効果ガス排出量の削減に取り組んできました。

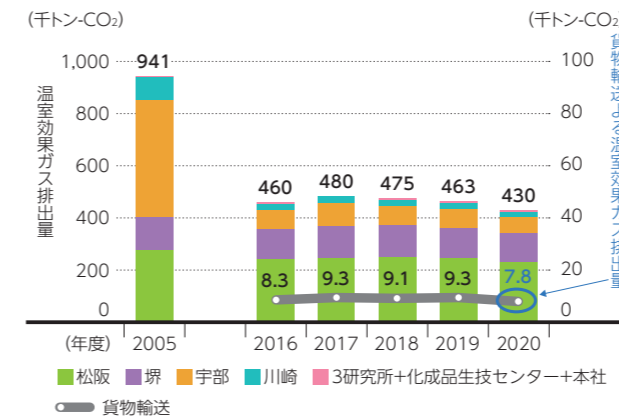
2020年度の工場操業に伴う温室効果ガス排出量については、工場操業における電力最適化などを講じた結果、前年度より減少し430千トン-CO<sub>2</sub> (2005年度比54.3%

削減)となり、目標を達成しました。また、製品の輸送による温室効果ガス排出量については、鉄道・船舶などのモーダルシフトを増やすなど、輸送の際に発生する温室効果ガス排出量の削減に努めた結果、前年度の9.3千トン-CO<sub>2</sub>から7.8千トン-CO<sub>2</sub>に削減することができました。

2020年度中に2030年目標を設定する計画で検討を進め、2015年「日本の約束草案」に沿った目標案を一旦策定しましたが、2020年度末からの国の削減目標の変更により、本案を保留としました。2021年4月に開

催された「気候変動サミット」において、日本の2030年数値目標が設定されましたので、今後の政府による国内措置および産業界の動向も踏まえつつ、可能な限り早い時期に2030年目標の設定を行う予定です。

#### ■ 温室効果ガス排出量の変化 (セントラル硝子)



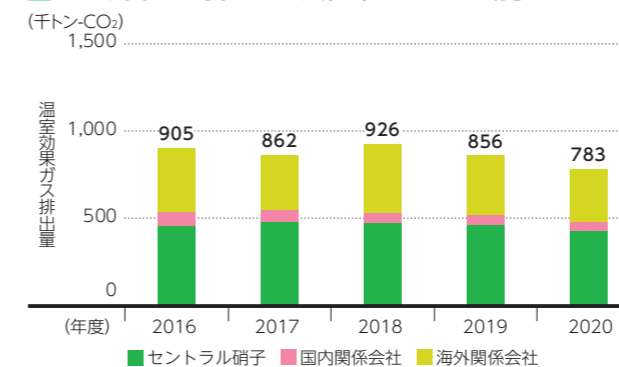
#### ● セントラル硝子グループ

国内および海外の関係会社においても、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

その結果、セントラル硝子グループの温室効果ガス排出量は、783千トン-CO<sub>2</sub>となり、前年度より削減することができました。

引き続き、国内および海外関係会社を含め温室効果ガス排出量削減に努めていきます。

#### ■ 温室効果ガス排出量の変化 (セントラル硝子グループ)



### 産業廃棄物最終処分量の削減

#### ● セントラル硝子

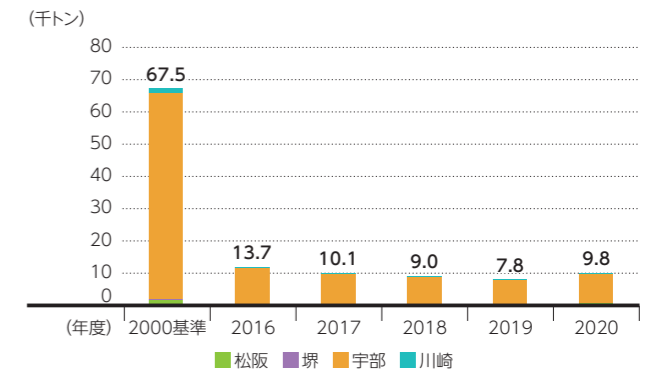
セントラル硝子では、産業廃棄物最終処分量を2020年までに2000年度比で71%削減する目標を立て、産業廃棄物の削減に取り組んできました。

2020年度の産業廃棄物最終処分量は9.8千トンで2000年度比85.4%の削減となり、目標を達成しました。対前年度比では増加しておりますが、未処理で保管していた廃棄物や委託先の工事により搬出できなかった廃棄

物の処理を実施したためであり、再資源化の取り組みにより2021年度以降の最終処分量は減少する見込みです。

次期2025年目標については、経団連「循環型社会形成自主行動計画」に従い、当社事業環境の変化を織り込んだ上で、早い時期に設定を行う予定です。最終処分量削減のみならず、廃棄物の発生抑制、再資源化率の向上、特に廃プラスチック対策に取り組み、積極的な3Rに努めていきます。

#### ■ 産業廃棄物最終処分量 (セントラル硝子)



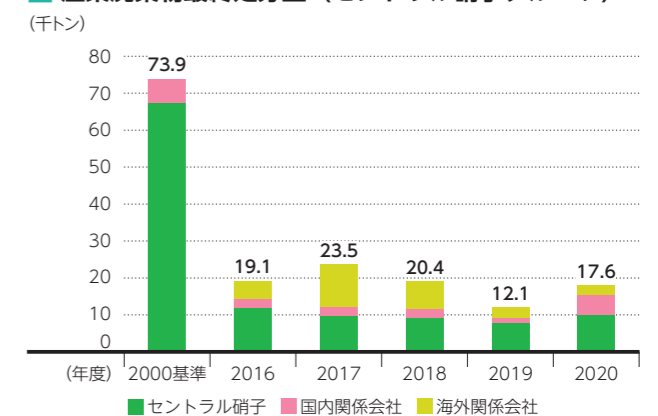
#### ● セントラル硝子グループ

国内および海外の関係会社においても、産業廃棄物の削減に取り組んでいます。

2020年度は、国内関係会社においてがれき類の最終処分を行ったため、産業廃棄物最終処分量が増加しました。そのため、海外関係会社の産業廃棄物最終処分量は継続的に減少しているものの、セントラル硝子グループ全体の産業廃棄物最終処分量は対前年増加となりました。

今後も、国内および海外関係会社を含め、3Rの取り組みを継続してまいります。

#### ■ 産業廃棄物最終処分量 (セントラル硝子グループ)





### 大気汚染物質・水質汚濁物質の排出状況

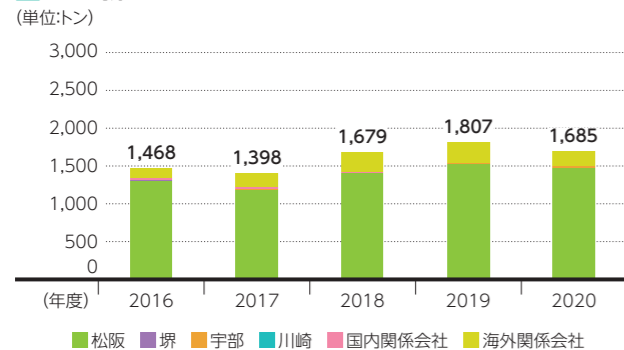
セントラル硝子グループでは、それぞれ立地する地域の大気、水質などの排出基準を遵守して工場操業を行っています。大気汚染物質や水質汚濁物質の排出削減は、地球環境と人々の健康・安全に配慮する上で重要な課題であり、今後も適正管理を継続していきます。

\*以下のグラフに関しては、過去に集計対象としていなかった事業所についても、遡って集計対象に追加したため、過去のCSR報告書での報告値と異なっております。

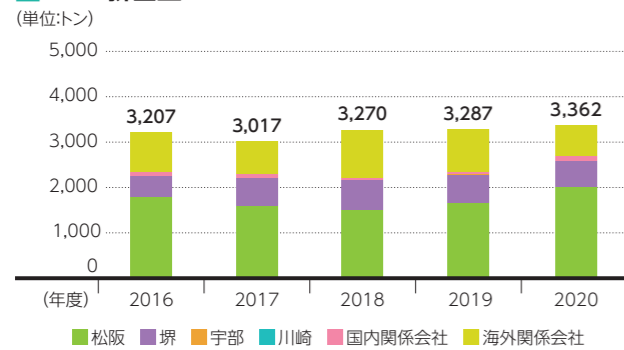
#### ●大気汚染物質の排出状況

大気汚染物質管理項目のうち、硫黄酸化物 (SOx)、窒素酸化物 (NOx) およびばいじんについて排出量推移を示します。

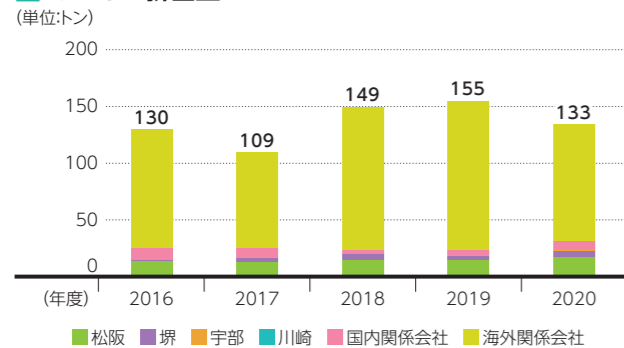
##### ■SOx排出量



##### ■NOx排出量



##### ■ばいじん排出量



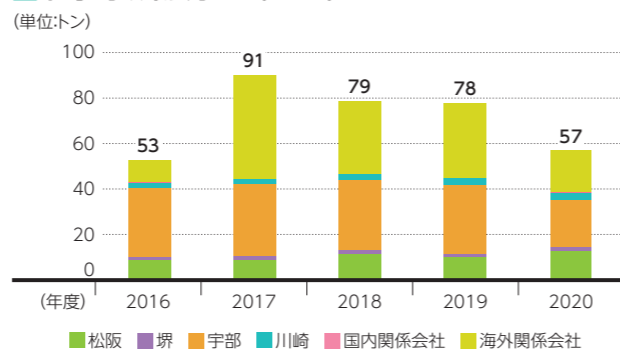
\* 海外関係会社のデータは各地域の基準で集計し、参考として表しています。

\*水質汚濁物質である化学的酸素要求量 (COD) の松阪工場の値については、自動連続測定による分析結果が低く算出されていた可能性があることがわかったため、定期分析による分析結果をもとに、2019年以前のデータについて修正を行いました。そのため、過去のCSR報告書での報告値と異なっておりますが、日常の公共水域への排出においては、規制値を十分に下回る濃度での維持管理を継続しています。

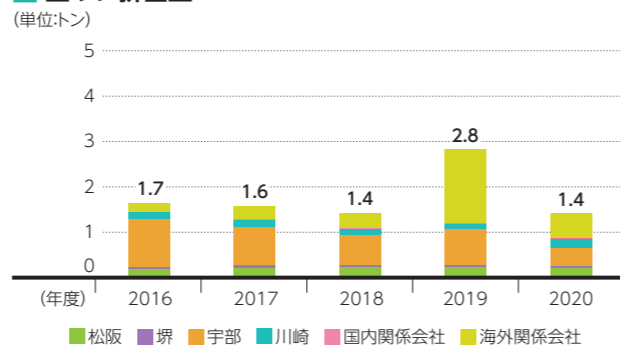
#### ●水質汚濁物質の排出状況

水質汚濁物質管理項目のうち、化学的酸素要求量 (COD)、全リンおよび全窒素について排出量推移を示します。

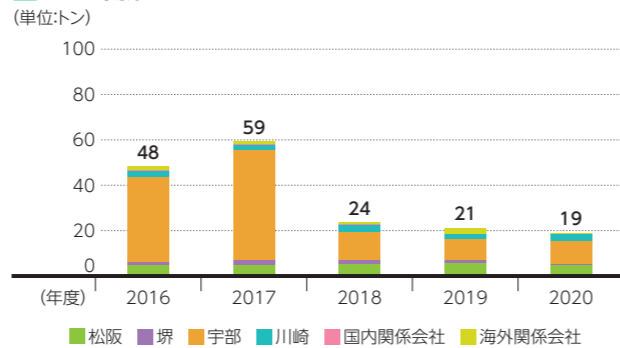
##### ■化学的酸素要求量 (COD)



##### ■全リン排出量



##### ■全窒素排出量



### 業務用空調機器・冷凍機からのフロン類漏えい量削減

セントラル硝子は、フロン排出抑制法に基づき、業務用空調機器・冷凍機の点検等、冷媒の適正管理により機器使用時のフロン類漏えいの削減に努めています。

2020年度は、各事業所で合計2,788台の簡易点検および定期点検を実施した結果、事業者合計で3,498トン-CO<sub>2</sub>の漏えい量となり、フロン類排出抑制法に基づき、国への届出を行いました。

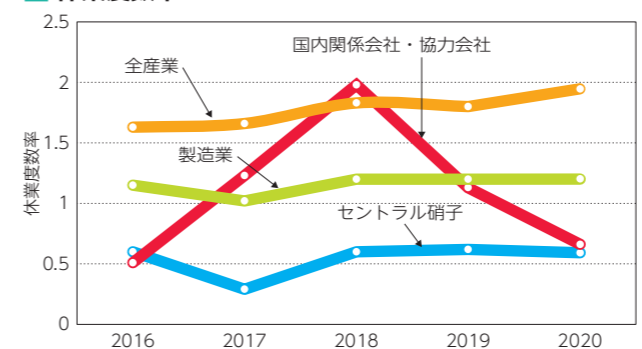
今後も、法令に基づく点検の際に、漏えい箇所の特定および補修、設備管理、冷媒量管理などを行い、フロン類漏えい量の削減に努めていきます。

### 労働安全衛生の推進

セントラル硝子グループでは、「安全衛生管理方針」を掲げ、国内外の各事業所で労働安全衛生活動を行っています。

2020年のセントラル硝子および国内関係会社、協力会社の労働災害発生件数は、休業災害8件、不労災害21件の計29件でした。また、労働災害の休業度数率は、日本の製造業全体の約1/2となりました。ガラスを取り扱う際の切創災害、設備工事の際の被液災害が増加傾向にあり、作業のリスクアセスメント実施を強化しています。

#### ■休業度数率



休業度数率 = (休業災害死者数 / 延べ労働時間) × 1,000,000 (100万労働時間あたりの休業災害の発生頻度)  
全産業、製造業の休業度数率は、厚生労働省 令和2年労働災害動向調査結果を参照した

海外関係会社のそれぞれの事業所でも労働災害撲滅に向けた活動を行っています。

今後も、労働災害の撲滅に向け、労働安全衛生活動を実施していきます。

### 保安防災の推進

企業活動において、安全は最優先であり、事故災害防止は企業活動の土台です。セントラル硝子および国内関係会社は、行政からの環境・保安防災に関する指導のもと、火災、爆発および化学物質流出などの事故ゼロを目指し、万全を期した保安防災体制を整備していますが、ここ数年は、フォークリフトによる事故が増加傾向にあります。

そのため、2020年度はメーカーによるフォークリフト実技講習の機会を増やし、協力会社も含めて実地訓練を強化するなど、事故防止に努めています。

また、(一社)日本化学工業協会発行の「保安事故防止ガイドライン」をもとにした各事業所による活動や、職務に精通した熟練技能者による若年者への技術、技能伝承などにより、事故の未然防止に努めています。

引き続き、従業員が安全に働ける労働環境と地域社会の安全・安心の確保に努めていきます。

参照) p34-35 各工場の取り組み (保安防災活動)



工場内運送協力会社への安全指導

### 物流安全の推進

セントラル硝子および国内関係会社は、化学物質輸送時の事故防止と事故発生時の被害拡大防止のため、「物流安全管理指針」に基づき、従業員および輸送を委託している協力事業者に対して、定期的な指導や教育を実施しています。

また、輸送事故時の措置内容を簡潔に記載した「緊急連絡カード (イエローカード)」\*は、法的義務とされている高圧ガスや毒劇物などの化学物質に加えて、法的義務のない化学物質についても作成し、運転手に携行させています。



化学物質輸送時の事故防止と事故発生時の被害拡大防止に向け、引き続き、物流安全の向上に努めていきます。



緊急連絡カード (イエローカード)

※「緊急連絡カード (イエローカード)」とは、高圧ガスや毒劇物などの化学物質の輸送時の万一の事故に備え、輸送する化学物質の危険有害性および輸送関係者あるいは消防・警察などが事故時に取るべき処置や連絡通報内容を明記したカードです。

### 化学物質管理の推進

#### 化学物質管理

セントラル硝子および国内関係会社では、化学物質排出把握管理促進法およびPRTR<sup>\*1</sup>制度に基づき、PRTR届け出物質の調査・集計・報告を行っています。

2020年度のPRTR届出物質の総数は、取り扱い品目や生産量の増減により、前年度より1物質増加し、61物質でした。参照) P23 PRTRデータ

また、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法などの法規制について引き続き遵守し、労働者の安全と健康の確保、環境負荷低減のための化学物質管理を一層充実させています。

海外の関係会社においても、現地法規制を遵守し化学物質管理を行っています。

引き続き、国内および海外関係会社を含め、化学物質の適切な管理を行います。

※1 PRTR…Pollutant Release and Transfer Register

#### アスベスト管理

セントラル硝子および国内関係会社では、建屋および生産設備の一部にアスベスト含有部材が使用されています。そのため、当部材が使用されている対象箇所を特定し、大気汚染防止法、労働安全衛生法、廃棄物処理法などの法規制を遵守、適切に管理し、撤去時には適切に処分を行っています。

この対応を確実にするために、従業員が働く場所の石綿含有建材の有無を把握し、建築物・工作物の解体や改修を行う前には、石綿含有品の使用状況の事前調査を実施し、必要な石綿ばく露防止措置を講じながら作業を

行っています。また、セントラル硝子および国内関係会社でのアスベストの使用・保管・処分状況の調査を年1回行い、環境安全現地監査の機会にアスベストの使用・保管の状況などを現地確認しています。

2020年度に公布され、2023年度にかけて段階的な施行が予定されているアスベスト管理に関する法改正についても遵守し、引き続き、アスベストの適切な管理を行ってまいります。

#### PCB 機器管理

セントラル硝子および国内関係会社では、PCB (ポリ塩化ビフェニル) を含むトランス、安定器、コンデンサなどに対し、PCB特別措置法、廃棄物処理法などの法規制を遵守し、厳重な管理のもとで、定められた処分期限に向けて処分を行っています。

この対応を確実にするために、セントラル硝子および国内関係会社でのPCB機器の保有・処分状況の調査を四半期ごとに行い、環境安全現地監査の機会にその管理状況などを現地確認しています。

2020年度は、前年度に続き、照明器具の安定器など、処分期限が迫っている高濃度PCB機器の確実な処分に向けて、保有・処分状況の調査を強化して実施しました。また、低濃度PCB機器についても処分期限内の処分計画を策定しました。

引き続き、法令を遵守し、計画的な処分に向けて適切な管理を行ってまいります。

#### SDS・GHSラベル対応

セントラル硝子グループでは、GHS<sup>\*1</sup>に従ったSDS<sup>\*2</sup>やGHSラベル<sup>\*3</sup>による情報提供を行っています。化学物質などが取り扱われる際には、SDSやGHSラベルに記載された情報に基づいて、リスク軽減のために必要な措置を講じることができ、安全や環境を守ることに繋がっています。

SDS・GHSラベルともに、複数部署による相互確認後の発行承認により、労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法、毒物及び劇物取締法に対する確実な対応を行っています。

2020年度は、2019年度に改正された「SDSとGHSラベルの作成方法等に関するJIS Z 7252、JIS Z 7253」に従いSDSとGHSラベルを発行することにより、海外も含めた社外への情報提供に努めました。また、社内に対しては、化学物質を取り扱う従業員に製品や原材料などのSDS・GHSラベルを周知し、適切な取り扱いの徹底に

努めています。

今後も、SDSやGHSラベルによる適切な情報提供を継続してまいります。

※1 GHS [Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals]  
…化学品の分類および表示に関する世界調和システム

※2 SDS [Safety Data Sheet 安全データシート]  
…化学物質などについての危険有害性、および環境に関する情報を記載したデータシート  
※3 GHSラベル  
…GHSに基づく危険有害性区分に応じた絵表示等を記載したもので、化学品の容器に直接印刷、貼り付けまたは添付するラベル

#### PRTRデータ (2020年度)

事業所	政令指定番号	物質名称	排出量			排出量対前年比	移動量
			大気	水域	土壌		
宇部工場	16	2, 2'-アゾビスイソブチロニトリル	0	0	0	→	0
	33	石綿	0	0	0	→	15000
	41	3'-イソプロポキシ-2-トリフルオロメチルベンズアニリド (別名: フルトラニル)	0	0	0	→	0
	71	塩化第二鉄	0	0	0	→	0
	80	キシレン	660	0	0	↘	5
	81	キノリン	0	0	0	→	0
	94	クロロエチレン (別名: 塩化ビニル)	0	0	0	→	0
	149	四塩化炭素	0	0	0	→	7800
	213	N, N-ジメチルアセトアミド	0	0	0	→	95000
	232	N, N-ジメチルホルムアミド	19	0	0	→	0
	243	ダイオキシン類 (単位: mg・TEQ/年)	3.0	0.069	0	↘	0
	281	トリクロロエチレン	1200	0	0	↘	0
	349	フェノール	110	200	0	↘	0
	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	460	0	0	↘	540
松阪工場	411	ホルムアルデヒド	0	0	0	→	0.1
	438	メチルナフタレン	44	0	0	↗	0
	132	コバルト及びその化合物	0	0	0	→	0
	242	セレン及びその化合物	110	0	0	↘	0
松阪工場堺製造所	412	マンガン及びその化合物	60	0	0	↘	0
	438	メチルナフタレン	19	0	0	↘	0
川崎工場	80	キシレン	89	0	0	↗	0
	296	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	100	0	0	→	0
	81	キノリン	0	0	0	→	0
	94	クロロエチレン (別名: 塩化ビニル)	0	0.3	0	↘	0
	104	クロロジフルオロメタン (別名: HCFC-22)	1800	0	0	↗	0
	149	四塩化炭素	170	0.9	0	↘	8900
	213	N, N-ジメチルアセトアミド	11	0	0	→	52000
	243	ダイオキシン類 (単位: mg・TEQ/年)	0.087	0.056	0	↘	0
	262	テトラクロロエチレン	0	0.7	0	↘	1400
	280	1, 1, 2-トリクロロエタン	0	2.3	0	↘	1300
	300	トルエン	46	0	0	↘	1600
	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	0	0	→	38
	392	ノルマルヘキサン	0	0	0	↘	10000
	277	トリエチルアミン	0	0	0	→	4300
化成生産技術センター	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	0	0	→	1100
	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	7	0	0	↗	13
セントラル硝子プラントサービス (株) 中日本*	53	エチルベンゼン	6500	0	0	-	1900
	80	キシレン	12000	0	0	-	1900
	82	銀及びその水溶性化合物	0	0	0	-	55
	272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	0	0	0	-	270
	296	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	2100	0	0	-	640
	300	トルエン	1600	0	0	-	3000
セントラル硝子プラントサービス (株) つくば工場	412	マンガン及びその化合物	0	0	0	→	330
	412	マンガン及びその化合物	0	0	0	→	790
セントラル硝子プラントサービス (株) 堺工場	412	マンガン及びその化合物	0	0	0	→	220
	82	銀及びその水溶性化合物	0	0	0	→	0
三重硝子工業 (株) 松阪工場	87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	→	32
	53	エチルベンゼン	39000	0	0	→	0
	80	キシレン	45000	0	0	↗	0
	232	N, N-ジメチルホルムアミド	0	0	0	→	430
	296	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	1600	0	0	↗	0
	354	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	0	0	0	→	530
	405	ほう素化合物	950	0	0	↗	3300
セントラル硝子プラントサービス (株) 春日井工場	411	ホルムアルデヒド	0	0	0	→	0
	349	フェノール	230	0	0	↘	640
	405	ほう素化合物	0	0	0	→	0
	411	ホルムアルデヒド	1000	0	0	→	1600
	277	トリエチルアミン	8400	0	0	↗	1300
セントラル化成 (株) 宇部工場	30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	0	0	0	→	0
	33	石綿	0	0	0	→	13000
	448	メチレンビス (4, 1-フェニレン) =ジイソシアネート	0	0	0	→	0

第1種指定化学物質の取り扱い量が年間1,000kg (特定第1種指定化学物質は年間500kg) 以上の物質について、排出量・移動量を掲載 (ダイオキシン類を除く)  
\*2020年4月に三重硝子工業 (株) 鏡部門の事業のセントラル硝子プラントサービス (株) 中日本への移管により、2020年度から届け出物質数が増加。



# お客さまに安心していただける 製品とサービスのために

セントラル硝子グループは、ものづくりを通じて、真に豊かな社会の実現に貢献し続けます。特に、お客さまの満足を第一に考えた品質活動を行ってまいります。法令・規制の遵守はもとより、お客さまの評価を真摯に受け止め、お客さまに愛され、安心してご使用いただける製品とサービスの提供に努めてまいります。

## 品質マネジメント

### 行動規範第二条と品質ガイドライン

・行動規範と品質ガイドライン  
セントラル硝子グループの企業理念に基づく行動規範の第二条「品質と安全性を最優先し、お客さまのニーズ充足を目指し続けます」を実行するための指針として、品質ガイドラインを制定しています。この品質ガイドラインは、コンプライアンスの重要な視点となる「予防」、「発見」、「対応」の枠組みから構成されています。

### 品質マネジメント体制

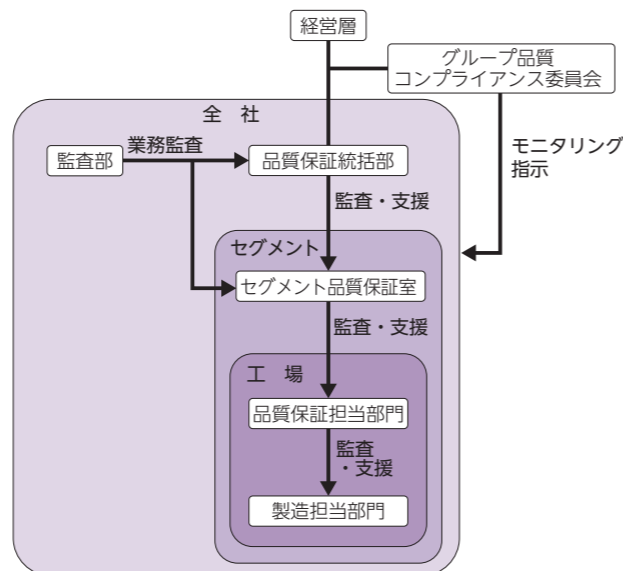
昨年度強化した品質マネジメント体制にて、品質活動を推進しています。

- ・グループ品質コンプライアンス委員会  
セントラル硝子グループ全体の品質マネジメント体制をより一層強化すべく、グループ横断組織であるグループ品質コンプライアンス委員会を設置しています。
- ・多層監査  
内部監査に、多層監査の考えを取り入れています。具体的には、工場の品質保証部門による自己監査、セグメント品質保証室による各工場監査、品質保証統括部によるセグメント品質保証室監査からなる三層監査を実行しています。
- ・品質問題レポートライン  
品質問題に迅速に対応するため、顧客や製造現場で起きたさまざまな品質問題を速やかに吸い上げ、適切な責任部署へ報告する品質問題レポートラインを構築しています。また、重大な品質問題は速やかに経営層へ報告され、遅滞なく緊急対策がとれる仕組みも備えています。

### 品質ガイドライン

項目	内容
クオリティカルチャー	法令・お客さまの要求事項・社会的要請を遵守し、高品質・安全な製品を提供し続けます。
継続的向上・改善	製品の品質と安全性のたゆまぬ向上を目指し、全社一丸となり、委託先を含むサプライチェーン全体での研鑽・改善を重ねます。
予防	方針・手続き 時宜にかなったルール改廃を行い、ルールを遵守します。
体制整備	品質管理部門・品質保証部門がそれぞれの機能を十分に発揮できるよう独立性を確保します。
人材・リソース	品質目標の達成に必要な人材・設備に、適切な投資を行います。
発見	監査強化 各工場/品質保証部門/監査部門による多層監査を実施し、諸問題の早期発見に努めます。
報告強化	品質問題発生時のレポートライン・報告基準を明確化し、迅速な対応に努めます。
対応	問題発生対応 品質問題発生時には、真因分析を適切に行い再発防止に努めるとともに、情報開示等の必要な対応を適時に行います。

### 品質マネジメント体制



## 品質監査

セントラル硝子グループは、工場および国内・海外の関係会社を含め、各階層での品質監査を計画的に実施しています。

### セグメント品質保証室による監査・支援

2020年度は、年間計画に沿って、硝子品質保証室、化成品品質保証室による工場、本社および関係会社20部門13社（硝子：7部門4社、化成品：13部門9社）への監査を実施しました。監査時に要望した是正または改善は、完了までフォローアップしています。今後は、多層監査の仕組みを拡大させることで、監査をより確実に抜けないものとし、各事業所の品質活動のレベル向上に取り組んでいきます。

### 品質保証統括部による監査・支援

品質保証統括部による、硝子品質保証室、化成品品質保証室への監査を実施しました。監査時の指摘・改善事項は、完了まで確実にフォローアップしています。

## 品質・製品安全の教育

セントラル硝子グループの人材育成として、「キャリア開発教育」と「ものづくり教育」を計画的に行っています。キャリア開発教育のプログラムにて、「新入社員フォローアップ研修」、「新任係長職研修」、「新任管理職研修」の体系的な品質にかかわる教育を行っています。

「新入社員フォローアップ研修」は、「品質活動の推進体制」をテーマとして、セントラル硝子グループの品質活動の概要を理解すること、さらに品質の基礎知識から品質が与える影響までを理解することを目的として、2020年6月30日に35名を対象に行いました。

「新任係長職研修」は、「品質・製品安全に関連する法令について」をテーマに、特に製品安全に関して理解することを目的として、2020年9月8日に17名、2020年10月22日に11名を対象に行いました。

「新任管理職研修」は、「総合的品質管理」をテーマに、品質活動の推進体制を理解すること、総合的品質管理（TQM）を理解することを目的として、8月20日に16名を対象に行いました。

本年度はコロナ禍も鑑み、オンライン（Teams会議）

にて開催しています。

今後もキャリア開発教育の趣旨に基づき、継続して実施していきます。

これらの教育を通じて培った知識は、品質と安全性を最優先したグループの品質活動に貢献しています。



ものづくり教育

### 品質講演会

全社品質教育の一環として、2020年11月13日、外部講師を招き「品質コンプライアンス」をテーマに品質講演会を開催しました。本年度はコロナ禍も鑑み、オンライン（Teamsライブイベント）にて開催し、約250名が聴講しました。



## 全社QCサークル大会

キャリア・クリエーション・センターでは、例年11月に全社QCサークル大会を開催しています。

2020年度は、残念ながら新型コロナウイルスの影響により中止としましたが、各サークルの日頃の努力を労い、QCサークル活動を活性化するため、各工場及び各関係会社から推薦していただいたサークルに「特別賞」を授与しました。

### 特別賞（7サークル）

地区	事業所	所属・部課	サークル	テーマ
宇部	宇部工場	化学品課有機二係	ぶるとっぴん	加水分解工程、触媒乾燥時間短縮による窒素使用量の削減
宇部	宇部工場	有機ファイン課ファイン係	エイトマン	T-261A/B活性炭入替（投入）方法の見直し
宇部	セントラル化成(株)	製造課	ザ・ガッツD	高度化成工場 鉗柄切替メンテナンス時間の短縮
松阪	松阪工場	製造第一課	チャレンジャー	粗摺工程 鉄製オリフィスの廃止
松阪	三重硝子工業(株)	加工第一課 第一係	DBX-α	ロール起因、不良発生率の削減
川崎	川崎工場	機能化学品三課	レジェンド	製品ラベルの貼り忘れ防止
川崎	川崎工場	機能化学品三課	ビーダッシュ	ろ物容器の影らみ削減

## 取引先への取り組み

お客さまに安心してご使用いただけるセントラル硝子ブランドの製品とサービスの提供に向け、取引先に対しても継続した品質活動を行っています。

### サプライヤー監査

セントラル硝子は、外部委託先を含めたサプライヤーに対しても、品質向上のための活動としてサプライヤー監査を行っています。

2020年度はサプライヤーのご理解・ご協力のもと、36社に対して現地・オンライン・書類のいずれかの方法でサプライヤー監査を実施しました。監査時に要求した是正または改善は、完了までフォローアップしています。

### 紛争鉱物調査

セントラル硝子は、武装勢力や反社会勢力による紛争、人権侵害、環境破壊に加担することがないように、紛争鉱物（タンタル、すず、タングステンおよび金）の調達に対しては、米国の金融規制改革法の紛争鉱物条項（第1502条）の主旨に基づき、RMI（Responsible Minerals Initiative）の監査により認証を受けた製錬会社から購入しています。

2020年度も、お取引先のご理解・ご協力のもと、紛争鉱物を取り扱うすべての調達先の調査を定期的に行い、RMIの認証を受けた製錬会社からの調達が継続されていることを確認しています。

### グリーン調達調査

セントラル硝子グループは、法令の遵守とより環境への負荷が少ない原料や資材などを優先的に調達するために「グリーン調達ガイドライン」を制定しています。

2020年度も、お取引先のご理解・ご協力のもと、「グリーン調達ガイドライン」に沿った調査票をもとに、法令で規制された化学物質の非含有状況などの調査を行い、問題のない調達が行われていることを確認しています。

引き続き、サプライチェーン全体での法令の遵守と環境負荷低減活動を推進していきます。



グリーン調達ガイドライン

## 2020年度目標と取り組み結果（硝子セグメント）

【大方針】品質問題に対して妥協を許さない体制の構築

ガイドライン	(P) 2020年度目標	(D) 2020年度取り組み結果	(C) 評価	(A) 2021年度の取り組み
予防	クオリティカルチャー	法的、公的、社内規格の遵守徹底 (A)	△	法的、公的、社内規格の遵守徹底 (A)
	継続的向上・改善	作業観察の強化	○	作業観察の強化
	方針・手続き	ルールの明瞭化、運用の徹底 (B)	○	ルールの明瞭化、運用の徹底 (B)
	体制整備	品質部門の権限強化 (NOと言える体制) (A)	○	品質部門の権限強化 (NOと言える体制) (B)
発見	人材・リソース	適格者の教育・育成	○	適格者の教育・育成
	監査強化	監査方法の改善、監査ツールの開発・運用 (B)	△	多層監査の運用強化 (A)
対応	報告強化	報告ルール、データベースの作成	△	報告ルール、データベースの適正運用
	問題発生対応	再発防止のための原因分析力の向上	○	再発防止のための原因分析力の向上

評価：○…目標を達成 △…概ね達成したが、一部未達成 ×…追加対策が必要 ○…評価対象外

A：最優先項目 B：優先項目

## 2020年度目標と取り組み結果（化成品セグメント）

ガイドライン	(P) 2020年度目標	(D) 2020年度取り組み結果	(C) 評価	(A) 2021年度の取り組み
予防	クオリティカルチャー	品質コンプライアンスに対する意識高揚 ・法令要求、契約記載事項の確実な遵守	△	公的規格適合性監査 ・契約事項遵守の点検
	継続的向上・改善	職場に応じたリスク明確化とその対応実行 ・外注先、購買先起因の不具合低減	○	品証室新規品目の保証体制確立 ・製販移行審査で新規製造ラインの保証体制確認 ・エネ材海外拠点支援継続
	方針・手続き	法令改正、契約事項の変更に応じたルール見直し ・QMSの確実運用	○	セグメントQMS見直し
	体制整備	工場の品質関連組織の改定に応じたルール見直し	○	保証品目の品管検査業務の点検
発見	人材・リソース	設備の自動化や更新による品質不具合低減検討 ・ヒューマンエラー防止教育および対策強化	○	監査スキル向上＝審査員研修受講 ・GMP関連知識習得
	監査強化	多層監査で品質不具合の未然防止推進 ・計画的なサプライヤー監査	○	セグメント内部監査、二層目監査 ・計画的なサプライヤー選定、監査
対応	報告強化	品質問題報告の新規システムの適切運用	○	品質問題報告システムの適切運用
	問題発生対応	品質問題発生時には迅速かつ適切に対応	○	自社起因不具合への対策のフォローアップ

評価：○…目標を達成 △…概ね達成したが、一部未達成 ×…追加対策が必要 ○…評価対象外



# 「ものづくり」は「ひとづくり」

セントラル硝子は、人々の生活を豊かにするために、より優れた、より付加価値の高い製品を提供し続けてきた「ものづくり」の企業です。そして企業発展の基本に「ひとづくり」を据え、人材育成・人事制度の充実を図り、個人の能力・能力を最大限に発揮できる環境整備を目指しています。



## ワークライフバランスの推進

育児・介護と仕事の両立支援の取り組みとして、当社は法定を上回る制度を構築しています。2021年1月より子の看護休暇、介護休暇の時間単位の取得整備が義務付けられましたが、当社でも取得促進に取り組んだ結果、徐々に利用者が増えています。

出産・育児制度については、女性従業員による関連制度の利用はもちろん、男性従業員においても利用者が年々増加しており、今後も制度を積極的に利用してもらうよう、広報や制度見直しに取り組んでいきます。

### ■ 育児・介護にかかわる制度

出産準備休暇*	妊娠中の通院等のための休暇を月2回。
出産休暇	法定の産前産後休暇。
出生休暇*	出産予定日の前後1か月以内に3日。
育児休業	法定の育児休業。1歳6か月または2歳まで。休業開始日から最大5日間は有給。*
育児休暇*	育児のための休暇を月1日。
子の看護休暇	子の看護等のための休暇を年36日。*時間単位の取得が可能。
育児短時間勤務*	勤務時間を1日最大2時間短縮。
育児時間差勤務	始業時間を1時間繰り下げ。
介護休業*	通算365日。3回まで分割可。
介護休暇	家族の介護や付き添いのための休暇を年10日。*時間単位の取得が可能。
介護短時間勤務	勤務時間を1日1時間短縮。
(次世代)再雇用制度*	妊娠、出産、育児または結婚・配偶者の転勤、および介護のいずれかの理由で退職した場合、退職から5年を上限として優先的に再雇用する。

\*は法定を上回る制度内容（制度そのものや、対象期間など）

### ■ 育児支援制度の適用期間（妊娠～育児期）

	妊娠	6週間	8週間	1年後	1年6ヶ月	2年後	小学校就学前	1年生	小学校修了
出産準備休暇			出産日						
出産休暇									
出生休暇(3日間)									
育児休業					(1歳6か月または2歳まで延長可)				
育児休暇									
育児時間差勤務									
育児短時間勤務									
子の看護休暇									

\*出産休暇（女性のみ）、出生休暇（男性のみ）、妊娠中の育児短時間勤務（女性のみ）以外は男女共通

## ダイバーシティの推進

定年退職者の再雇用制度や女性の積極採用のほか、グローバル化に対応するため、外国籍の方の採用を行い、異なる価値観や文化での経験を活かして活躍してもらっています。

また、2020年度末の障がい者雇用率は2.17%となり前年度を上回ったものの、法定雇用率2.2%（2021年3月から2.3%）は未達成となりました。引き続き、障がい者の雇用促進に取り組めます。

セントラル硝子では、これからも多様な人材の雇用、育成に取り組む、性別、国籍、年齢、障がいを問わず、従業員一人ひとりがいきいきと働ける風土づくりを進めていきます。

### ■ 雇用状況データ

項目	2018年度	2019年度	2020年度
①従業員数（うち女性）	1,633名 170名	1,631名 178名	1,671名 180名
②新卒採用者数（うち女性）	68名 14名	74名 13名	91名 12名
③平均年齢	36.3歳	36.4歳	36.6歳
④平均勤続年数	14.7年	14.9年	15.1年
⑤外国籍者数	10名	11名	13名
⑥育児休業取得者数（うち男性）	15名 3名	16名 7名	22名 8名
⑦育児短時間・時間差利用者数	22名	33名	30名
⑧介護休業取得者数	0名	1名	1名
⑨障がい者雇用率	2.14%	2.16%	2.17%
⑩(定年後)再雇用者数	165名	179名	164名

\*①②③④単体・正社員のみ、⑤～⑩：出向含む

## VOICE

川崎工場 品質保証部  
村山 浩一



育児、家事について妻の負担をできるだけ少なくするため、長女が生まれてから出生休暇を3日、育児休業を3週間取得しました。

育児取得にあたり仕事などへの影響が気になりましたが、同僚の勧めやサポートのおかげで心置きなく育児に集中することができました。この場を借りて関係者の皆さまに感謝申し上げます。

育休中はじっくりと子どもに接することができましたし、妻にも感謝されました。また、泣いている赤ちゃんをあやすことを通じて正確にニーズをつかむことの大切さを学びました。今後もワークライフバランスを考えながら、育児の経験を活かして会社に貢献したいです。

## 健康的で活力のある企業風土の形成

少子高齢化による労働人口不足の懸念から策定された女性活躍推進法の施行により、女性の管理職登用ならびに職域拡大に向けた行動計画を2016年度より10年間にわたり実施することが義務付けられました。

これを契機に、多様な人材の活躍、効果的教育の実施、労働環境の見直し、そして組織全体のパフォーマンス向上を目指すため2016～2017年度の2年間を「第1回女性活躍推進行動計画」として、現状把握と課題分析を実施しました。第1回で特に課題となった働き方見直しについては、2018～2021年度の4年間で実施す

### ■ 2020年度行動計画取り組み状況

第2回女性活躍推進行動計画	(P) 2020年度目標	(D) 2020年度取り組み結果	(C) 評価	(A) 2021年度の取り組み
目標1：女性従業員比率の向上（数値目標：11%）	女性の積極的採用および継続就業可能な環境・制度の整備	新卒採用の女性比率13.2%を達成	○	女性採用への積極的な働きかけおよび（次世代）再雇用制度の活用
目標2：働き方見直しに向けての啓発	(1) 定時時間内で業務を終わらせるワークスタイルへの転換に向けての啓発	コロナ禍におけるテスト実施の振り返りを行い、今後の制度化に向けた課題把握と柔軟な勤務形態を検討	○	アフターコロナを見据え、働く時間・働く場所を柔軟にすべく、制度化について検討
	(2) スマートDay（定時退社日）、時間外申請、計画休暇の継続実施	時間外申請、計画休暇は継続実施（スマートDayは（1）の取り組みに伴い一時休止）	○	継続実施、効果測定
	(3) 管理職（ライン職制を含む）の意識改革に向けての啓発	管理職向け研修の具体的内容の検討	△	柔軟な働き方をテーマに管理職向け研修を計画・実施
目標3：育児・介護に関する情報発信	関係規程、制度および具体的事例の周知強化を継続実施	一部申請の電子承認化、社内掲示板（子育ての広場）の更新	△	社内掲示板をさらに活用し、継続して周知強化。育児休業中社員のフォロー検討

評価：○…目標を達成 △…概ね達成したが、一部未達成 ×…追加対策が必要 ……評価対象外

る「第2回女性活躍推進行動計画」に反映しました。第2回の3年目にあたる2020年度はコロナ禍により計画変更せざるを得ませんでしたが、感染症対策として柔軟な働き方（サテライトオフィス、時差出勤、在宅勤務）を一時的に導入することができました。

2021年度は第2回行動計画の最終年となります。2022～2025年度の第3回に向けて計画の実施と振り返りを行い、両立支援や多様性の尊重を継続しながら、従業員一人ひとりが自分の成長を感じ、長く働ける、そして、長く働きたいと思える会社を目指します。

## メンタルヘルスケア

企業の抱えるメンタルヘルスの課題は、メンタル不調となった当人の健康やキャリアはもちろんのこと、職場の士気や生産性にもダメージを与えかねず、重要な経営課題の一つとなっています。

セントラル硝子は、予防と早期発見を促すため、グループ全従業員に対し、毎年ストレスチェックを実施しています。本年度は外部の専門機関と協力し、全管理職に対してメンタルヘルス対策のラインケア研修を実施しました。また、高ストレス者に対しては産業医面談や専門機関のカウンセリング受診を促し、環境改善などの検討を行うことを制度化しています。

メンタル疾患による休職者に対しては、休職者本人・かかりつけ医・上司それぞれの対応ポイントを体系化した「職場復帰支援プログラム」を整備し、職場復帰支援を行っています。







## 地域社会との共生のために

地域社会との共生は、企業の存続には必要不可欠です。セントラル硝子グループは、地域社会の一員として、社会に貢献する活動を通じて、地域との共生と発展に努めています。



### 千代田区社会福祉協議会「子育てサロン」への遊具寄付

セントラル硝子労働組合本社支部・川崎支部は、社会貢献活動の一環として、チャリティーフリーマーケットへ参加しています。この活動ではセントラル硝子グループの従業員から寄せられた品物を販売し、その売上金は社会福祉活動用の基金として積み立てられ、過去には車いすやリクライニングチェアの寄付を行っています。

2020年度は、千代田区社会福祉協議会の子育てサロンに子供用遊具を寄付しました。千代田区の特徴として、子育て世代に一人親や共働きの家庭が多いことから、孤独を感じている親子が多いといった課題があります。子育てサロンは、そのような環境におかれた親子の交流の場として、地域住民や学生などのボランティアにより運営されています。

新型コロナウイルス感染症の影響で子育てサロンへの訪問はできておりませんが、昨年10月に千代田区社会福祉協議会事務所にて贈呈式が行われ、地域支援系の職員の方と子育てサロンでボランティアをされている民生委員の方にご出席いただきました。

労働組合としては、運動方針にも掲げているとおり、今後も社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



千代田区社会福祉協議会事務所での贈呈式

### 港湾道路定期清掃

堺製造所とセントラル硝子プラントサービス（株）堺工場は、政令指定都市である堺市の「堺市まちの美化を推進する条例」に基づいた取り組みとして、近隣企業十数社の人々と、物資の運搬などに利用する製造所前の港湾道路の定期清掃を年間計画に沿って行っています。

2020年度は、年2回実施とする年間計画に沿って、それぞれ20~30名の参加により歩道の除草やごみ収集などの清掃活動を行いました。

また、新型コロナウイルスの感染防止対策により2020年度は開催されなかった大阪湾の海浜清掃についても、行政・近隣企業とともに活動を継続していきます。



港湾道路定期清掃

### 側溝清掃活動

松阪工場は、地域貢献活動のひとつとして築港地区側溝清掃を行っています。

この側溝清掃は、築港地区自治会が自治会活動の中で取り組まれているが、松阪工場起因による原料飛散で迷惑を掛けていることを真摯に受け止め、率先して側溝清掃参画を提案し、対象となる範囲の側溝清掃を実施しています。本活動が、地域住民とのコミュニケーション

の活性化にも繋がっています。パトロールなどでは今まで以上の情報共有が可能となり、早期に地域の方々のご要望を伺うことも可能となりました。築港地区自治会からは本活動について、感謝の声を頂いております。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、築港地区自治会と連携を取り、時期を変更して取り組みを行いました。

近隣地域の生活環境にもかかわる重要な取り組みとして、地域貢献活動を積極的に行っています。今後も、地域の皆さまが安心して住むことができる環境活動と、コミュニケーションのさらなる活性化を目指し、継続的に活動を行っていきます。



築港地区での側溝清掃活動

### 第16回宇部地区RC地域対話集会

宇部地区の化学企業3社4工場は、2年に1回地域住民との対話集会を開催しています。2020年11月の第16回集会は、新型コロナウイルスの感染防止のため、初めてのWeb形式で開催し、行政ならびに地域のNGOや一般市民の方々など64名が参加されました。まず、日本化学工業協会から「レスポンシブル・ケア（RC）活動とそのコミュニケーション活動」の説明、特定非営利活動法人の環境団体宇部環境コミュニティーからは化学物質の排出量の説明、および参加企業3社4工場から工場概要や環境保安防災の取り組みについて説明したあとに、地球温暖化対策および化学物質管理や廃棄物の管理などのテーマについて意見交換を行いました。各テーマで活発な意見が出され、環境に関する具体的な意見交換が行われるなど有意義な対話集会となりました。

今後も地域の皆さまとともに安全・安心な事業所を構築するため、地域の方々とのコミュニケーションを継続

的に図っていきます。なお、今回コロナ禍の状況でもWeb形式で開催したことが評価され、（一社）日本化学工業協会からRC優秀賞をいただきました。



第16回宇部地区RC地域対話集会リモート風景

### その他の地域活動

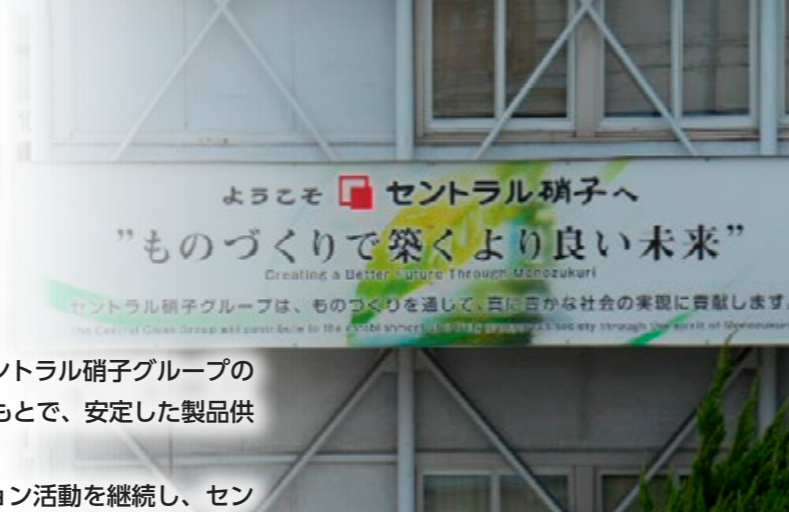
工場名	活動内容
宇部工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場一斉5Sの日に市道、県道の清掃活動（1回/月）</li> <li>常盤公園の清掃活動（1回/年）</li> <li>小野湖の清掃活動（1回/年）</li> <li>秋吉台の草原を守り、育む活動（1回/年）</li> <li>水を守る森林整備活動（1回/年）</li> <li>スノーバーによる道路清掃（毎日）</li> </ul>
川崎工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場周辺道路の定期清掃</li> <li>コンビナート近隣工場との環境・安全に関する定期情報交換会</li> <li>東京湾環境一斉調査への参加（工場周辺の東京湾水質分析の実施および報告）</li> <li>浮島地区近隣事業所合同防災訓練への参加</li> </ul>
松阪工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏祭りへ近隣の方々を招待（2020年はコロナ禍により中止）</li> <li>三重県産業廃棄物対策推進協議会の「鳥羽市志志島の漂着物清掃」に参加</li> <li>三重大学（国際環境教育センター）主催の松名瀬海岸清掃活動への参加（2020年はコロナ禍により中止）</li> <li>松阪市環境パートナーシップ会議「まつさか環境フェア」へエコガラスの出展（2020年はコロナ禍により中止）</li> <li>松阪多気地区労働者福祉協議会の「松名瀬海岸清掃ボランティア活動」への参加（労働組合松阪支部）</li> <li>松阪市主催「まちなか清掃活動」への参加</li> <li>スポーツ少年団等のグラウンドの無料開放</li> <li>エコキャップ回収（労働組合松阪支部）（2020年度はコロナ禍により中止）</li> <li>近隣自治会へ臨時駐車場としての有地無料開放</li> <li>松阪市「Matsusaka-EMS外部環境監査」審査員として派遣</li> </ul>
松阪工場 堺製造所	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種募金を社会福祉活動に寄付</li> <li>大阪府清港会による堺泉北港の航行船舶の安全と環境保全事業に協賛</li> <li>堺市の消防協力事業所として、大規模災害時の救助・消火・救護などへの人員派遣対応</li> <li>堺製造所にて献血活動実施</li> <li>湾岸道路の清掃実施</li> </ul>



# 地域の安全・安心の確保のために

「ものづくりで築く より良い未来」の実現に向けて、セントラル硝子グループの各工場は、「安全第一」に昼夜を問わない保安防災体制のもとで、安定した製品供給に向けた生産活動を行っています。

地域への環境の配慮、地域の皆さまとのコミュニケーション活動を継続し、セントラル硝子グループ製品を通じて、真に豊かな社会の実現に貢献していきます。

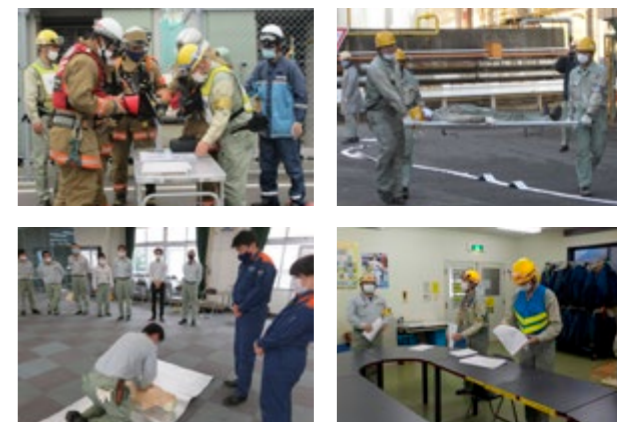


## 保安防災活動

セントラル硝子の各工場は、「安全第一」に昼夜を問わない保安防災体制を敷いています。

地震発生時の漏洩・火災を想定した防災訓練および津波避難訓練は、各工場敷地内の関係会社、常駐している協力業者の方々を含めた訓練として、計画的に実施しています。

近隣住民の皆さまが安心できる安全な工場を維持するために、継続して保安防災活動に努めていきます。



## 宇部工場



所在地 山口県宇部市大字沖宇部 5253 番地  
 従業員数 653名 (2021年3月31日時点)  
 主要生産品目 フッ素関連製品、その他化学品  
 認証取得状況 ISO14001 認証取得 (2000年12月)  
 ISO9001 認証取得 (1997年12月)  
 ISO45001 認証取得 (2020年2月)

### 工場長メッセージ

宇部工場は、瀬戸内海宇部臨海工業地域に位置し1936年に設立され、ソーダ事業から生産を開始して以来、肥料やファインケミカル製品へと事業を展開してきました。現在ではフッ酸を原料とした有機ならびに無機フッ素化合物のファインケミカル製品を主体に製造を行っています。特に当社が開発したすべての半導体プロセス用クリーニングガス製品は、地球温暖化係数 (GWP=Global Warming Potential) ゼロの環境にやさしい製品です。さらに次世代低GWPのノンフロン型フルオロカーボン製品の製造も行っており、これらの製造を通じて環境対応事業に積極的に取り組んでいます。

工場における温室効果ガス削減の取り組みとしては、各プラント運転条件の最適化や高効率機器の導入、重油から都市ガスへの燃料転換等の省エネ活動を展開しています。

また、廃棄物削減の取り組みとしては、製造工程の廃液から原料である蛍石を回収する設備や、各プラントから発生する廃油の一部を燃焼処理する設備を設置し、資源の循環および廃棄物最終処分量の削減に努めています。

2020年2月には、労働安全マネジメントシステムであるOHSAS18001からISO45001への移行を完了するとともに、安全で安心かつ健康的な職場環境の構築に努めています。



宇部工場長 毛利 勇

## 松阪工場



所在地 三重県松阪市大町 1521 番地 2  
 従業員数 236名 (2021年3月31日時点)  
 主要生産品目 自動車用安全ガラス  
 建築用および自動車用板ガラス  
 建築用加工ガラス  
 認証取得状況 ISO14001 認証取得 (2000年4月)  
 ISO9001 認証取得 (2003年11月)  
 IATF16949 認証取得 (2018年6月)

### 工場長メッセージ

松阪工場は、世界で唯一である連続両面磨き法のデュプレックス設備等による板ガラス、ならびに自動車用・建築用の加工ガラスを製造しています。

松阪工場では、多量のエネルギーと資源を費やすため、従来から環境保全活動を活発に行っています。

省エネルギー・省電力およびCO<sub>2</sub>削減のために、ロスの削減、大規模な改修に合わせた省エネルギー機器の導入、操業技術改善を推進しています。

廃棄物については、全国的にも厳しい環境の中、端板ガラスをほぼ全量再利用し、さらにハイレベルな削減活動と有価物 (商品) 化に取り組み続けています。

排水処理としては、地域協定値を遥かに下回る値を実現する設備を設置し、地域の安全、安心を図っています。

「ものづくりで築く より良い未来」をモットーに、一人ひとりが継続的改善で成長を目指し、地域に貢献し、感謝の心を忘れずに、安全で笑顔溢れる工場であるように努めていきます。



松阪工場長 川瀬 将昭

松阪工場は、2002年に砒素・鉛を含有した地下水が確認され、2020年3月にフッ素を含有する地下水が確認されたことから、地下水の浄化作業を継続して実施しています。

## 川崎工場



所在地 神奈川県川崎市川崎区浮島町 10 番 2 号  
 従業員数 236名 (2021年3月31日時点)  
 主要生産品目 無機化学品、有機化学品  
 認証取得状況 ISO14001 認証取得 (2007年5月)  
 ISO9001 認証取得 (2001年7月)

### 工場長メッセージ

川崎工場は、次世代低GWPフッ素系発泡剤HFO-1233zd (E)、優れた環境性能と高い洗浄性を両立した次世代フッ素系溶剤HFO-1233zd (Z)、医薬品中間体、フォトレジスト材料、リチウムイオン電池電解液など、ファインケミカル製品を中心に生産しています。

これら製品の製造過程で発生する副生成物については3R (Reduce、Reuse、Recycle) 活動を推進し、引火性廃油の有価物化/リサイクルや汚泥のリサイクルなどに積極的に取り組んでおり、廃棄物の最終処分量を2000年度比で90%以上削減しています。これらの当社の環境活動への取り組みが川崎市に認められ、条例に定める「環境行動事業所」に認定されています。

保安防災活動においては、川崎工場は危険物等を多量に取り扱う石油コンビナート等特別防災区域に位置する事業所であるため、事業所単独の防災訓練の他、関係機関との総合的な防災訓練を実施するなど、事故・災害の防止に努めています。

環境、安全への配慮に終わりはありません。川崎工場は今後も継続してこれらに取り組んでいきます。



川崎工場長 末永 茂

川崎工場は1982年の1、2-ジクロロエタン漏えいに起因する地下水の浄化作業を継続して実施しています。

## 松阪工場堺製造所



所在地 大阪府堺市堺区築港南町 6 番地  
 従業員数 41名 (2021年3月31日時点)  
 主要生産品目 建築・住宅用板ガラス  
 電子材料用板ガラス、建築用窓ガラス  
 認証取得状況 ISO14001 認証取得 (1999年12月)  
 ISO9001 認証取得 (1999年2月)

### 製造所長メッセージ

堺製造所は、大阪府堺市の中央に位置しており、セントラル硝子のガラス事業発祥の地として、1959年から板ガラスの生産を開始しました。1982年には、製造方法を現在のフロート法に変更し、生産を行っています。

ガラス溶解炉は、操業条件を見直し、生産性を改善することによってエネルギー原単位の削減を進めるとともに、廃棄物をリサイクル化するだけでなく、有価物への転換も進めながら、廃棄物のさらなる削減に繋がる取り組みを行っています。

「ものづくりで築く より良い未来」をモットーに、ものづくりを通して、地域の皆さまが安心して生活でき、真に豊かな社会の実現に貢献するよう、環境、安全に配慮した工場であるよう努めていきます。



松阪工場堺製造所長 谷瀬 伸久



セントラル硝子では、1966年より「セントラル硝子国際建築設計競技」を主催しています。審査員には日本の建築において著名な先生方を招き、国内外から建築を志す学生や第一線で活躍されている建築設計者の方々の関心を集めています。2020年は応募作品180点（うち海外から57点）の中から最優秀賞が選ばれました。

経済性や合理性の追求と、自然環境の維持や歴史的・伝統的な文化の保持とが同時に求められる現代にあって、このコンペが望ましい社会や環境を考えるきっかけの一つになればと願っています。

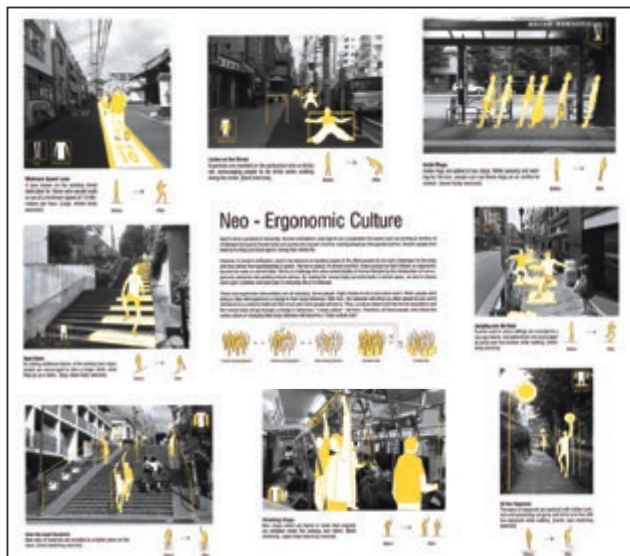
第55回 最優秀賞

作品名

セントラル硝子 国際建築設計競技の審査員

**ブーン・ハウ・リン** (日本、フリーランス)  
**ピャエゾーン・アウンスー** (日本、フリーランス)

### Neo-Ergonomic Culture



#### 作品説明

私たちは既存の公共インフラに反人間工学的な要素を取り入れ、この極めて快適な生活様式にチャレンジすることを考えました。視覚的手がかりに従いがちな人間行動を活用し、いくつもの新しい仕掛けを考案しました。

これらの反人間工学的な仕掛けを利用する、しないは個人の自由です。使ってくれる人も、そうでない人もいます。こうした仕掛けを使って運動を続けていくと、次第に身体行動の変化を実感するはずです。しばらくすると、その行動による影響が波及して仲間が増え、それ自体が文化となり、さらに多くの輪が広がってくに違いありません。

このようにして、集まった人間とその肉体が共に行動の変化を経験する文化、「ボディ・カルチャー」が形成されます。その結果、身体行動を変える文化を共有するすべての人々が、「ボディ・カルチャー・クラブ」となるのです。

#### コロナ禍で行った審査



リモート審査風景

従来は大会場にて公開審査と表彰式を行っていましたが、今回は新型コロナウイルスの感染症対策として、株式会社新建築社の司会進行によるリモート審査としての開催としました。最優秀賞、優秀賞、入選作品が選ばれ、その模様はライブ配信を行いました。



審査委員長

**内藤 廣**  
内藤廣建築設計事務所



©The Courier

**隈 研吾**  
隈研吾建築都市設計事務所



**亀井 忠夫**  
株式会社日建設計



©Masakazu Yoshida

**青木 淳**  
AS



**賀持 剛一**  
株式会社大林組



**塚本 由晴**  
アトリエ・ワン



**巻幡 良忠**  
セントラル硝子株式会社  
常務執行役員



#### CSR報告書2021 表紙コンセプト

主力事業である「ガラス」と「化学」分野の融合による新たなソリューションの誕生です。異なる分野の融合によって新たな事業の創出・拡大を、2つの円弧が溶け込み新たな色合いを作り出すビジュアルイメージに落とし込みました。調和のとれた色味と柔らかな形は、社会に寄り添う在り方も示しています。